

2019年5月3～4日

**東京・憲法集会、安倍改憲ビデオメッセージ・産経インタビュー、
憲法を巡る動き・発言**

しんぶん赤旗 2019年5月4日(土)

**東京で憲法集会 9条改憲許すな 6万5000人 市民と野
党の共闘広げ 参院選で安倍政治に審判を 4野党党首ら そ
ろろ**



(写真)「改憲許さない」とプラカードアピールする参加者＝3日、東京都江東区

日本国憲法が施行されて72年となる3日、安倍政権による9条改憲に反対する集会やパレードが全国各地で行われました。東京都江東区で開かれた「平和といのちと人権を！ 5・3憲法集会」(主催＝同実行委)には、過去最高となる6万5000人(主催者発表)が参加。著名人や4野党1会派の党首らがスピーチし、「安倍政権による改憲発議を許さず、憲法を守ろう」と訴えました。

会場の東京臨海広域防災公園には、メインステージ開会の数時間前から人々が訪れ、「9条改憲NO」「許すな！改憲発議」「まもれ！沖縄の民意」「安倍政権退陣」と書かれた色鮮やかなプラカードを高く掲げ、アピールしました。

主催者あいさつした高田健さん(総がかり行動実行委員会共同代表)は、安倍政権の改憲策動を私たちの運動ではね返してきたと強調。「市民と野党の共同の力で今国会での改憲発議を阻止し、参院選で改憲勢力を打ち倒そう」と呼びかけました。

4氏のゲストスピーカーや安倍政治とたたかう市民らが発言。作詞家の湯川れい子さんは、「戦争経験者として、憲法9条を守るために残りの人生をかけた。憲法に自衛隊を書き込むという、インチキを許してはいけません」。

『「辺野古」県民投票の会』代表の元山仁士郎さんは、米軍新基地建設反対の圧倒的な県民の民意は示されたが工事は止まっていないと訴え。「民主主義とはいったい何なのか。憲法に書かれている、一人ひとりが尊重される社会をつくりましょう」と語りました。

「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」の広渡清吾さん(東京大学名誉教授)は、「市民は、安倍政権に代わる政権を求めています。日本国憲法こそ、私たちがめざす新しい政治の選択肢を導くものです」とのべました。

子どもを連れて参加者が目立ちました。2歳の娘を連れて、東京都江東区から参加した女性(36)は、「国会を軽視する安倍政権に、憲法を変えてほしくありません。憲法に書かれているような、誰もが安心して暮らせる社会にしたい」と話しました。

集会では、日本共産党の志位和夫委員長とともに、立憲民主党の枝野幸男代表、国民民主党の玉木雄一郎代表、社民党の又市征治党首、参院会派「沖縄の風」の伊波洋一議員が壇上で勢ぞろいし、安倍9条改憲を阻止し、「市民と野党の共闘」で安倍政権を倒そうと次々に決意を訴えました。衆院会派「社会保障を立て直す国民会議」、玉城デニー沖縄県知事がメッセージを寄せました。



(写真)参加者の声援にこたえる4野党1会派の代表。左から伊波、又市、志位、玉木、枝野の各氏＝3日、東京都江東区

しんぶん赤旗 2019年5月4日(土)

自民改憲案の二つの大問題 志位委員長が告発 9条2項を死文化、自衛隊の行動を無制限に拡大

日本共産党の志位和夫委員長は3日、東京都江東区で開かれた「5・3憲法集会」で、「安倍9条改憲のどこが問題か」と切り出し、それを自ら告白したのが自民党が昨年の党大会でまとめた9条改憲の条文案だとし、二つの大問題を告発しました。

第一に、自民党の条文案では、9条2項(戦力不保持)の後に「前条の規定は…必要な自衛の措置をとることを妨げない」として、自衛隊の保持をうたっていることです。

志位氏は、9条2項の制約が自衛隊に及ばなくなり、2項が残ったとしても「立ち枯れ」となり「死文化」させられると指摘。2項があったからこそ、戦後、自衛隊は、一人の外国人も殺さず、一人の戦死者も出していないとして、「この宝を葬ろうとする改悪は断じて許さない」と訴えました。

第二は、自民党の条文案が、「自衛隊の行動」は「法律で定める」と書いていることです。志位氏は、「これは、ときの多数党と政府が、法律さえ通せば、『自衛隊の行動』を無制限に拡大できるということにはほかならない」とズバリ。

これまで政府は、憲法との関係で、武力行使を目的とした海外派兵、集団的自衛権の行使、攻撃型空母などの保有、徴兵制などは、「できない」と説明してきたが、憲法に自衛隊が明記されればそうした説明が一切いらなくなると指摘。「これまで憲法との関係で『できない』とされてきたことが、ときの政権の一存で自由にできるようになる。自衛隊は憲法の制約から解放され、ひとり歩きすることになってしまう」と告発。「海外派兵も、徴兵

制も、核武装さえ可能になる、歯止めない軍事大国化の道は断固拒否しよう」と訴えました。

志位氏は、安倍晋三首相が執念を燃やす9条改憲には「致命的弱点」があり、憲法によって縛られるべき首相が自ら改憲の旗振りをする事自体が憲法違反だと痛烈に批判。「この決着は選挙でつけよう。安倍政権による9条改憲は許さない——この一点で『市民と野党の共闘』を広げに広げ、参院選で『安倍政治サヨナラ』の審判を下し、安倍政権もろとも9条改憲の企てを葬り、9条が生きる平和日本を一緒につくろう」と呼びかけました。

しんぶん赤旗 2019年5月4日(土)

憲法集会 野党あいさつ・メッセージ (要旨)

「5・3 憲法集会」での野党各党代表などのあいさつ・メッセージ(要旨)は次の通りです。

違い乗り越えて連携 立憲民主党・枝野幸男代表



権力は憲法によって正当化され、憲法によって拘束される。この立憲主義は近代社会であれば当然の前提です。

その原則が脅かされているといういまの日本の状況を打破するためには、さまざまな違いを乗り越えて、権力を憲法で拘束するというまっとうな社会をつくるために、壇上におられる各党のみなさんとしっかりと連携して安倍政権を倒す。その先頭に立つことをお約束申し上げます。

「自衛権」を無制限に 国民民主党・玉木雄一郎代表



9条改憲では、自衛隊を明記するだけで何も変わらないと(安倍晋三首相は)説明しています。しかし、自衛権の範囲を無制限に拡大しようとしているのが今の自民党案です。

安倍政権は憲法論議で、「我が国の独立」などを担保、強化したいといっています。それなら、大きな主権制約をされている日米地位協定を改定することこそまっさきに取り組むべきです。

みなさんと力を合わせていきます。

改憲何としても阻止 社民党・又市征治党首



安倍首相は、今度の参院選で改憲勢力の3分の2をかちとって、2020年改憲を実現しようと、虎視眈々(こしたんたん)と狙っています。何としても阻止しなければならない。

9条改憲の狙いは、平和憲法の本質を、軍事優先に切り替えていくことにある。このことを多くの人々にもっと知らせましょう。今変えなければならないのは安倍政権です。退陣に追い込んで憲法改悪を阻止しましょう。

いまこそ平和主義へ 参院会派「沖縄の風」・伊波洋一議員



いまこそ平和主義が必要な時です。政府は戦争法を強行成立させて、ことあるごとに隣国の「脅威」を強調して「日米同盟の強化」に結び付け、「抑止力」を理由にばく大な軍事装備を購入し、戦争に備えています。辺野古には米海兵隊の最前線基地を建設しようとしています。

9条改憲を決して許してはならない。沖縄も頑張ります。全国から反撃していきましょう。

人権の尊重守り抜く 衆院会派「社会保障を立て直す国民会議」(メッセージ)

安倍政権は選挙で勝てば何をやっても許されるというおごりから国会軽視が目立ち、公平性がもっとも求められる行政がゆがめられる状況が続いています。立憲主義と日本国憲法の根幹である国民主権、平和主義、基本的人権の尊重を守り抜くために全力で取り組んでいきます。

優しい社会実現する 玉城デニー沖縄県知事(メッセージ)

本日は、沖縄県に憲法が適用されて47年目となります。沖縄県民は、鮮烈な沖縄戦や、米軍政権下の苦難の歴史を通して、平和と人権の尊さを肌身で感じてきました。私は、沖縄県民が受けてきた歴史的教訓を次世代に伝え、だれ一人取り残すことのない沖縄らしい優しい社会を実現することが重要と考え、まい進していく所存です。

しんぶん赤旗 2019年5月4日(土)

5・3 憲法集会 志位委員長のあいさつ

日本共産党の志位和夫委員長が3日、東京臨海広域防災公園で開かれた「5・3 憲法集会」で行ったあいさつ全文は次の通りです。

自民党の9条改憲の条文案——安倍9条改憲の問題点を自ら告白した



(写真) スピーチする志位和夫委員長=3日、東

京都江東区

みなさん、こんにちは（「こんにちは」の声）。安倍（晋三）首相と同じ年ですが、立場は全く正反対の日本共産党の志位和夫です（笑い、拍手）。熱い連帯のあいさつを送ります。

安倍9条改憲のどこが問題か。私は、そのことを自ら告白したのが、自民党が昨年の党大会でまとめた9条改憲の条文案だと思っています。そこには二つの大問題があることを訴えたい。

「前条の規定は…妨げない」——9条2項が立ち枯れになり、死文化される

第一に、自民党の条文案は、9条2項の後に、「前条の規定は、自衛の措置をとることを妨げない」として、自衛隊の保持をうたっています。「前条の規定は…妨げない」ということになり、9条2項の制約が自衛隊に及ばなくなります。2項が残ったとしても、立ち枯れとなり、死文化されてしまいます。

しかしみなさん、私たちの日本国憲法9条を9条たらしめている9条の命は2項にこそあるのではないのでしょうか（「そうだ」の声、拍手）。戦後、自衛隊は、ただの一人の外国人も殺していないし、ただの一人の戦死者も出していない。9条2項のおかげではないですか。（「そうだ」の声、拍手）

安倍首相は「自衛官の子どもが悲しむ」といって9条に自衛隊を書き込むといっています。しかしみなさん、子どもさんが一番悲しむのは、お父さんが戦争で命を落とすことではないですか。その点では、自衛隊員の命をも守ってきたのが憲法9条ではないでしょうか。（「そうだ」の声、大きな拍手）

この宝を葬ろうとする改憲は断じて許さない——この決意を、この日にあたって固めようではありませんか。（大きな拍手）
ときの政権が、法律さえ通せば、「自衛隊の行動」を無制限に拡大できる

自民党の条文案には、もう一つの大問題があります。それは、「自衛隊の行動」は「法律で定める」と書いてあることです。これは、ときの多数党と政府が、法律さえ通せば、「自衛隊の行動」を無制限に拡大できるということにほかなりません。

これまで政府は、「自衛隊の行動」を憲法との関係で説明してきました。憲法との関係で、武力行使を目的とした海外派兵はできない、集団的自衛権の行使はできない、攻撃型空母や戦略爆撃機やICBM（大陸間弾道ミサイル）など相手国の壊滅的破壊のための武器は持てない、徴兵制はできないなどと説明してきました。

ところが憲法に自衛隊とひとたび書かれてしまうと、そういう説明が一切いらなくなってしまいます。これまで憲法との関係で「できない」とされてきたことが、ときの政権の一存で自由できるようになってしまいます。自衛隊は、憲法の制約から解放されたれ、ひとり歩きすることになってしまいます。

海外派兵も、徴兵制も、核武装さえ可能になる——歯止めない軍事大国化の道は断固拒否しようではありませんか。（「そうだ」の声、大きな拍手）

安倍政権による9条改憲は許さない——参院選で「安倍政治サヨナラ」の審判を

安倍首相の改憲への執念はもとより軽く見るわけにはいきま

せん。しかしそこには致命的弱点があると思います。憲法によって縛られるべき内閣総理大臣が、自ら改憲の旗振りをする。このこと自体が憲法違反ではないですか（「そうだ」の声、拍手）。彼に憲法を語る資格などありません。（「そうだ」の声、拍手）

みなさん、この決着は選挙でつけようではありませんか。（「そうだ」の声、拍手）

安倍政権による9条改憲は許さない——この一点で市民と野党の共闘を広げに広げまして、参議院選挙で「安倍政治サヨナラ」の審判を下し、安倍政権もとも9条改憲の企てを葬り、9条が生きる平和日本を一緒につくろうではありませんか。頑張りましょう。（大きな拍手）

しんぶん赤旗 2019年5月4日(土)

「天皇制度 最悪の政治利用」 改憲派集会首相メッセージ 志位氏が批判

日本共産党の志位和夫委員長は3日、安倍晋三首相が同日の日本会議系の改憲派集会に寄せたビデオメッセージで、新天皇の即位や改元などにふれながら改憲に言及したことについて、「代替わり、あるいは改元とからめて改憲ということになったら、これは天皇の制度の最悪の政治的利用ということになる」として、その姿勢を厳しく批判しました。東京都江東区で開かれた「5・3憲法集会」後、記者団の質問に答えました。

しんぶん赤旗 2019年5月4日(土)

5・3憲法集会の発言

3日、東京都江東区で開かれた「5・3憲法集会」では、著名人や学者、さまざまな立場の市民がスピーチしました。主催者あいさつ 改憲勢力を打ち砕こう 総がかり行動実行委 共同代表 高田健さん



安倍内閣は2020年に改憲を施行するといつて策動を続けていますが、2年間の運動で、改憲案の提示すらさせていません。

安倍政権には、今国会で強引に改憲発議を行うか、参院選で3分の2を獲得するかはわかりません。

辺野古の米軍新基地建設問題をはじめアジアの平和・非核化、原発の再稼働、社会の格差・貧困、人権と平等などの課題と結びつけ、野党と協力して必ず阻止しましょう。

参院選では、市民と野党の共同を実現するとともに、お互いに支持しあい、改憲勢力を打ち砕きましょう。

市民連合から 市民と野党共同で変革 東大名誉教授 広渡清吾さん



安倍政権を倒して新しい政権をつくるために、国民に対して、市民と立憲野党の共同こそが新しい選択肢であることを、国民に信頼してもらえる形で示さなければなりません。

日本国憲法は、豊かな内容を持ち、個人の尊厳、自由と権利を私たちに約束しています。これこそ私たちがめざす新しい政治の選択肢を導くものです。

安倍改憲を阻止し、憲法を実現する大きな力を国民の中につくり出しましょう。参院選では、市民と立憲野党の共同の議席を大きく増やして、安倍政権を打倒する展望を切り開きましょう。
スピーチ 憲法9条は「世界の宝」 音楽評論家・作詞家 湯川れい子さん



音楽が大好きで59年間楽しく生きてくることができました。憲法を守るために終生、残りの人生をかけたいと思っています。

ビートルズやロックについて攻撃されたことがありました。しかし、楽しく歌い踊るところに、殺し合いなどないのです。

憲法9条というと、「そんなもので平和は守れない」「武器がなくてどうする」といいますが、違います。人間が人間を殺すことを恥じないといけません。9条は理屈を超えて日本の宝、世界の宝です。

9条は変えないけれど、自衛隊を書き込むというインチキを許してはいけません。
尊重しあう社会めざす 「辺野古」県民投票の会代表 元山仁士郎さん



名護市辺野古の米軍基地建設の是非を問う県民投票では、反対が72%という圧倒的結果が示されました。しかし、埋め立て工事は続いています。なぜ、沖縄の人々の民意は反映されないのか。民主主義とは何ですか。

税金は根拠を示しながら人びとのために使う。法律をその趣旨にのっとって適用する。沖縄の海、森をしっかりと守る。お互いを尊重し話し合って決めていく。こんな社会をめざしていくべきではないですか。憲法には、そのことが書かれています。憲法を大事にしなが、一人ひとりを大切にする社会をつくっていきましょう。

憲法でなく政治変える 京都大学教授 高山佳奈子さん



2017年の衆院選では、改憲勢力を支持する人より多くの人々が投票を棄権しました。投票に行かないということは、誰が権力の座に就こうが、従うということです。この集会に来ていない人にも関心をもってもらわないといけません。

変えるべきは憲法ではなく政権です。自民党の改憲案でいう教育の充実も合区解消も、緊急事態対応も現行法でできることです。

9条に自衛隊を書き込めば、「第二章戦争放棄」が「第二章自衛隊」になってしまいます。「第一章天皇」のあとが自衛隊となって三権から独立してしまい、荒唐無稽です。

言論・表現の自由守れ ジャーナリスト・武蔵大学教授 永田浩三さん



私は安倍首相と同じ1954年生まれ。戦後の民主主義教育で国民主権、基本的人権の尊重、平和主義がどれほど大事なのかを授業で学びました。

私が編集長を務めたNHKの日本軍「慰安婦」を扱った番組が放送される直前、官房副長官だった安倍首相がNHK幹部にちょっかいを出し、番組は大きく変えられてしまいました。私は告発できませんでしたが、いまはジャーナリストと市民の連帯が広がっています。

再び戦争への道を進んではいけません。心あるジャーナリストと市民との連帯で言論や表現の自由を守り、安倍政権を終わらせましょう。

立民・枝野氏「日本の立憲民主主義は大変な危機にある」

産経新聞 2019.5.3 18:13

憲法記念日の3日、東京都内で開かれた護憲派集会で、立憲民主党の枝野幸男代表は「日本の立憲民主主義は大変な危機にある」と指摘した上で、「権力を憲法によって拘束するという真つ当な社会をつくるために、各党と連携して安倍晋三政権を倒す」と訴えた。発言の詳細は以下の通り。

◇

「憲法記念日に民主主義と立憲主義を守ろうという大勢の市民の皆さまがお集まりになっていることに、心から敬意と感謝と連帯のごあいさつを申し上げます」

「残念ながら、この1年間も、日本の立憲主義は、後退をさせられてきました。憲法の保障する人権の中でも、特に重要である表現の自由、同調圧力、忖度（そんたく）、残念ながら、大きなメディアを見ていると政治や社会の真実が国民には伝わらない、そんな状況がますます大きくなっています。表現の中の一要素である知る権利、政府が隠蔽・改竄（かいざん）を行い、指摘をされても、開き直るといふ、とんでもない状況にあります」

「正しい情報が知らされ、自由な言論空間が保障されない限り、真の民主主義はあり得ません。今の日本の立憲民主主義は、大変な危機にあると言わざるを得ないと思っています。また、憲法の

保障する健康で文化的な最大限の生活が補償されない方々が残念ながらもますます増えてしまっています。こうした状況を変えていく。そのための大事な、大事な集会にこれだけ多くの皆さんが、お集まりになっていることに勇気付けられながら、同時に、重い大きな責任を感じています」

「権力は憲法によって正当化され、憲法によって拘束される。この立憲主義は近代社会であれば、当然の前提です。主義・主張、政策、イデオロギーに関わらず、近代社会であれば、必ず確保しなければならない原則です。その原則が脅かされているという今の日本の状況を打破するためには、さまざまな違いを乗り越えて、権力を憲法によって拘束するという真つ当な社会をつくるために、今日、壇上にいる各党の皆さんとしっかりと連携をして、安倍晋三政権を倒す。その先頭に立っていくことをお約束申し上げて連帯のあいさつとさせていただきます。ともに頑張りましょう。ありがとうございました」

『令和』って言うな 国民・玉木代表に聴衆が発言

産経新聞 2019.5.3 16:20

国民民主党の玉木雄一郎代表は3日、東京都内で開かれた護憲派集会で他の野党党首とともに「連帯の挨拶」を行ったが、聴衆のヤジにあった。

「令和初めての憲法記念日…」

登壇した玉木氏がこう切り出すと、聴取から「令和って言うな!」「そうだ!」「令和はいらねえぞ!」などと怒声が飛んだ。

また、玉木氏が「皆さん、安倍晋三政権の最大の問題はなんだと思いますか」と話を振ると、ある聴衆は間髪入れずに「令和だ」と叫んだ。

玉木氏は、安倍首相が意欲を示す憲法9条への自衛隊明記などを批判したが、立憲民主党の枝野幸男代表や共産党の志位和夫委員長の挨拶に比べて拍手は少なめだった。

共産・志位氏「安倍首相に憲法を語る資格などない」

産経新聞 2019.5.3 18:15

憲法記念日の3日、東京都内で開かれた護憲派集会で、共産党の志位和夫委員長がマイクを握り、「安倍晋三首相に憲法を語る資格などありません」などと訴えた。発言の詳細は以下の通り。

◇

「熱い連帯の挨拶を送ります。安倍9条改憲の問題を自ら告白したのが、自民党が今年の党大会でまとめた条文案です。これには2つの大問題があります。第1に9条2項の後に、前条の規定は自衛の措置をとることを妨げないとして、自衛隊の保持をうたっています。そうすると、2項の制約が自衛隊に及ばなくなります。2項が残ったとしても立ち枯れとなり、死文化されてしまいます。しかし、私たちの9条を9条たらしめている9条の命は、2項にこそあるのではないのでしょうか」

「戦後の自衛隊は、ただの一人の外国人も殺していないし、ただ一人の戦死者も出していません。9条2項のおかげではないですか。安倍首相は『自衛官の子供が悲しむ』と言って9条に自衛隊を書き込むと言います。しかし、子供が一番悲しむのはお父さ

んが戦争で命を落とすことじゃないですか。その点では自衛隊員の命も守ってきたのが憲法9条ではないのでしょうか。この宝を葬ろうとする大悪は断じて許さないという決意をこの日、固めようではございませんか」

「自民党の条文案にはもう1つの問題があります。自衛隊の行動は法律で定めると書いてあることです。時の多数党と政府が法律さえ通せば、自衛隊の行動を無制限に拡大できるということに他なりません」

「これまで政府は自衛隊の行動を憲法との関係で説明してきました。憲法との関係で武力行使を目的にした海外派兵はできない、集団的自衛権の行使はできない、攻撃型空母や戦略爆撃機やICBM(大陸間弾道ミサイル)など相手国に壊滅的破壊を与える武器は持たない、徴兵制はできないと説明してきました」

「ところが憲法に自衛隊と書かれてしまうと、そういう説明が一切いらなくなってしまいます。憲法との関係でできないとされてきたことが、ときの政権の一存で自由にできるようになってしまいます。自衛隊は憲法の制約から解き放たれ、一人歩きすることになってしまいます。海外派兵も徴兵制も核武装さえ可能にする歯止めない軍事大国化の道は断固拒否しましょう」

「安倍首相の改憲への執念は軽く見るわけにはきません。しかし、そこには致命的弱点があります。それは、権力によって縛られるべき内閣総理大臣が自ら改憲の旗揚げをすること自体、憲法違反じゃないですか。彼に憲法を語る資格などありません」

「この決着は選挙でつけようじゃありませんか。『安倍政権による9条改憲は許さない』の一点で市民と野党の共闘を広げに広げ、参院選で安倍政治にサヨナラの審判を下して、安倍政権もろとも9条改憲の企てを葬り、9条が生きる平和日本と一緒に作るうではありませんか」

社民・又市党首「偽装、ねつ造、安倍晋三」

産経新聞 2019.5.3 18:49

憲法記念日の3日、東京都内で開かれた護憲派集会で、社民党の又市征治党首が「偽装、捏造(ねつぞう)、安倍晋三」と言って政権を批判した。発言の詳細は以下の通り。

◇

「安倍改憲NO!を突きつけるために本集會に結集されたみなさんに心から連帯のご挨拶を申し上げたいと思います。最近、安倍さんの改憲の声がちょっとトーンダウンしているというふうに言われています。そりゃそうだろうと思います。改竄(かいざん)、偽装、捏造、安倍晋三。こんな批判を受けて本当に嘘つき内閣だ」

「安倍政権が今年秋の臨時国会、もしくは来年の通常国会の冒頭にも憲法改正を發議し、2020年に改憲を実現すべく虎視眈々と狙っていることは、ここにお集まりの皆さんならご承知のことと思います。何としても阻止しなければなりません」

「憲法の条文の中に防衛省、厚生労働省、総務省という名前はどこかに書かれてありますか? 自衛隊は防衛省の下部組織ですから、これを憲法9条に明記するということは、軍事組織を内閣と同じ位置付けにするということなのです。とんでもない話で

はありませんか。つまりは、軍事優先に切り替えて、平和憲法の体系の下にある法律を全部覆していく。ここに本質的な狙いがある。このことを多くの人びとに知らせようじゃありませんか」

「皆さん、この時代錯誤の策動を何としても食い止めましょう。今、やらなきゃならんことは、変えなきゃならんことは憲法ではなくて安倍政権であります」

「何としても今度の参院選では野党で（改憲の国会発議を止めるのに必要な）3分の1の壁を突破して、できれば過半数を取りたい。改憲勢力は3分の2を割らせ、安倍を退陣に追い込んで、憲法改悪を阻止する。ともに頑張ってくださいませ」

市民運動家・元山仁士郎氏「基地（問題）も憲法も岐路に」

産経新聞 2019.5.3 18:21

憲法記念日の3日、東京都内で開かれた護憲派集会で、沖縄県民投票に不参加の姿勢を示した宜野湾（ぎのわん）市などに対してハンガーストライキで抗議した『辺野古』県民投票の会」代表で市民運動家の元山仁士郎氏がマイクを握り、「憲法も今、変わるか変らないか、そういう岐路に立たされている」と訴えた。発言の詳細は以下の通り。

◇

「はいさーい。憲法集会にお集まりのぐすーよ、ちゅーうがなびら。ご存じのように2月24日、普天間飛行場の代替施設として国が名護市辺野古に計画している米軍基地建設のための埋め立てに対する賛否についてを問う沖縄県民投票が行われました」

「結果は投票率が52.48%。『反対』に丸をした方が72%、43万4000人余りと圧倒的な結果が出ました。しかし、辺野古米軍基地建設のための埋め立て工事は依然として続いています。なぜ沖縄の人々の意思、民意は反映されないのでしょうか。こんなことってありえるのでしょうか」

「皆さんの故郷で同じようなことが起きたらどう思いますか。住民投票の結果が反映されなかったらどう思いますか。『沖縄が』とかじゃなくて、普通に怒ってほしいんです。怒るべきなんです」

PR

「共同通信が行った世論調査でも7割近くの方が県民投票の結果を国は尊重すべきだと答えていました。しかし、都道府県知事へのアンケートでは『県民投票の結果を尊重すべき』と答えたのは、岩手と静岡の2県のみでした。このギャップは何なんでしょうか」

「岩屋（毅）防衛相も『沖縄には沖縄の、国には国の民主主義がある』ということを豪語されていました。また、県民投票の結果が出る前から『工事を進めると決めていた』とも明言されました」

「沖縄の人々の投票って一体、何なんでしょうか。この国の民主主義って一体、何なんでしょうか。これらを定めている憲法って一体、何なんでしょうか。本当にそのような疑問が拭えませんか」

「日本は、あるいは日本の人々は、これから何を大事にしているんですか。できるか、できないかわからない基地建設に何兆という税金を使って、沖縄のきれいな海を埋め立てていくことなのか。適用できない法律をねじ曲げて適用していくことなのか。一

部の人がやりたい放題、物事を決めていくことなのか。そうじゃないですよ」

「税金を、根拠を示しながら日本に住むあらゆる人々のために使っていく。沖縄のきれいな海、自然をしっかりと残していく。法の趣旨にのっとり、議論を行って法律を使っていく。お互いを尊重しながら、腹を割って話して決めていく。そういった社会が望まれるべきなんじゃないですか」

「憲法には、そのことが書いています。『みんなで大事にしようね』って、そういうことが書いています。今の日本国憲法があるからこそ、沖縄は日本になったという言い方もできます」

「私としては沖縄戦、戦争体験者が少なくなる中で、私のような若い世代が戦争、基地というものと、今後どう向き合っていくのかを主たるテーマとしてアクションも起こしてきました。言い換えると、辺野古の基地建設が進められている中で、私の子や孫に対して何を語るかということですよ」

「憲法も今、変わるか変らないかという岐路に立たされています。その時、皆さんが何をしたのか。私が何をしたのか、あなたが何をしたのか。自分の言葉で語れる大人になりましょう。1人1人を尊重して、いい社会を作っていきましょう。今度こそ沖縄の意志、沖縄の民意を私は実現したいと思っています」

「ここにお集まりの皆さんと一緒に、それができると思いますが。沖縄に来ずとも、意見書の採択、陳情の採択、いろいろできることがあります。この憲法を大事にしながら、1人1人で、良い社会を作っていきましょう。ありがとうございました」

高山佳奈子京大教授「変えるべきは憲法ではなく安倍政権」

産経新聞 2019.5.3 18:30

憲法記念日の3日、東京都内で開かれた護憲派集会で、京都大教授の高山佳奈子氏がマイクを握り、「今変えるべきは憲法ではなく安倍晋三政権だ」と訴えた。発言の詳細は以下の通り。

◇

「昨年3月の自民党大会で出された改憲4項目は、どれもこれも百害あって一利なしです。このことはもう皆さんよく知っていると思います。今日は民主主義について考えてみたいと思います」

「2017年の衆院選では、自民党が2672万票を獲得し、得票率は48%ぐらいだった。ただ、大きな問題は棄権された人の数が4914万だったということです。もちろんこの中には身体的、精神的な状態によって、そもそも投票に行くことが困難という方も少しは混じっているかもしれませんが、それでも改憲勢力を支持する人たちよりも多くの数の人たちが棄権という結果になっています。実際には、この人たちが今の政権を支えることになっているという点に気付かないといけなと思っています」

「よく若い人たちの間に『投票には興味がない』『政治には失望しているから』と言って、かっこつけているような感じで棄権をする方がいらっしやいます。しかし、この行動は、単に何もしていないということではありません。単なる政治に対する皮肉ではありません。民主主義を自分の行動をもって否定しているということです。投票に行かないということは、誰が政権の座に就こうがそれに従うという意味を自分の行動で示しているということです」

ありますから、まさに独裁制を支持するという考え方。自分人間としてではなく、奴隷として生きるという意思の表明であります。このことに気づいてほしいです」

「なかなか若い方々は政治の問題、自分のこととして考える機会もないかもしれませんが、若い方に限らず投票に行かないということが、民主主義への攻撃だということを知ってほしいと思っています」

「(自民党の) 改憲案の問題を簡単におさらいしてみたいと思います。今日のこの集会の広告のスローガン『今変えるべきは憲法でしょうか』。とてもいいスローガンだと思いました。今変えるべきは憲法ではありません。今変えるべきは政権です」

「改憲項目で示されたものは、本当にもう変えるべきでないものばかり。例えば、教育の充実ということについては、すでに憲法26条1項が次のように定めています。『すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する』。これでいいじゃないですか。具体的なことは教育基本法や学校教育法などの法律できちんと決めればいいことです」

「次に参院の合区解消。これも憲法47条で『選挙区、投票の方法その他両議院の議員の選挙に関する事項は、法律でこれを定める』とあります。公職選挙法で選挙制度は決めています。これでいいじゃないですか」

「緊急事態条項は憲法にはもちろん既定がないわけですし、つくることも想定されていませんが、災害対策基本法105条1項に『緊急事態布告』という制度を定めています。『非常災害が発生し、かつ当該災害が国の経済及び公共の福祉に重大な影響を及ぼすべき異常かつ激甚なものである場合において、当該災害に係る災害応急対策を推進し、国の経済の秩序を維持し、その他当該災害に係る重要な課題に対応するため特別の必要があると認めるときは、内閣総理大臣は閣議にかけて、関係地域の全部又は一部について、災害緊急事態の布告を発することができる』。これでいいじゃないですか」

「最後の9条ですが、憲法の第2章『戦争の放棄』という章で、戦争放棄しか書いていないところに自衛隊を入れますと、第1章『天皇』、第2章『自衛隊』、第3章『国民の権利及び義務』、第4章『国会』、第5章『内閣』、第6章『司法』というようになって、天皇と自衛隊が並び、(立法、行政、司法の)三権から独立する存在になってしまいます。このような荒唐無稽な改憲は許すことはできないと思います。皆さん、おかしいということをどんどん広めていきましょう」

元NHK・永田浩三氏「安倍君、憲法をいじるのはやめろ」

産経新聞 2019.5.3 18:34

憲法記念日の3日、東京都内で開かれた護憲派集会で、元NHKプロデューサーで武蔵大教授の永田浩三氏がマイクを握った。安倍晋三首相と同じ1954年生まれであることを明かした上で、「大事な憲法をいじるのはやめておとなしく身を引きなさい」などと強調した。発言の詳細は以下の通り。

◇

「皆さん、こんにちは。32年間、NHKでプロデューサー、ディレクターをしていました。今は大学の教員として若者とともにドキュメンタリーを作ったりしています。今日は、総理の仕事をしている安倍晋三君について話したいと思います。知らない人は、あの嘘つきといえれば思い出されるかもしれません」

「私と安倍君は同じ1954年生まれです。同じ学年には(共産党委員長の)志位和夫君、(元文部科学事務次官の)前川喜平君、ドイツの首相、メルケルさんがいます。安倍君は福島(第1)原発事故の後、すぐに原発をやめると決めたメルケルさんとは相性が良くないみたいですし、加計学園の獣医学部を作るのが、いかに無理筋だったかを証拠立てて語る前川君が苦手なようです。あと志位和夫君も苦手みたいです」

「私たち1954年生まれは、皆、戦後民主主義教育の申し子です。日本国憲法の3つの柱、『国民主権』『基本的人権の尊重』『平和主義』がどれほど大事なのか、小学校や中学校でしっかり学んだんです。先生たちも熱心でした」

「小学校4年生のとき、東京五輪がありました。オリンピックは参加することにこそ意義がある。日の丸が上がるかどうかは関係ない。優れた競技やすごい記録に拍手を送るんだ。アベベ、チャラフスカ、ショランダー…。柔道(無差別級)で神永(昭夫)が(オランダの)ヘーシンクに負けたときも、ショックはなくて、ヘーシンクに私は拍手を送りました」

『『日本を、取り戻す。』『がんばれ! ニッポン!』。その旗を振る安倍君、少し了見が狭すぎませんか』

「大学を卒業し、安倍君はサラリーマンを経て、政治家になり、私はNHKのディレクターになりました。ある時、思いがけない接点ができました。2001年のことです。私は、日本軍の慰安婦として被害に遭った女性たちを扱ったNHKの番組の編集長でした。一方、その時、安倍君は内閣官房副長官。君は放送の直前にNHK幹部たちにちょっかいを出し、番組が劇的に変わってしまいました。永田町でどんなやりとりがあったのか。その後、朝日新聞の取材で輪郭が明らかになっています。「私は抵抗しましたが、敗れました。体験したことを世の中に語り出すことができず、孤立し、長い間、沈黙を続けました。悔しく、また恥ずかしいことです。あのとき君はそれなりの権力者でした。放送前に番組を変えさせるなんて、憲法21条の言論の自由、検閲の禁止を犯すことになり、そのことが世の中にさらされれば、君は今のような総理大臣になっていなかったことでしょう」

「今、官邸記者会見で、東京新聞の望月衣塑子記者が菅(義偉)官房長官からさまざまな圧力を受け、質問が十分にできない中、それでも、われわれの知る権利の代行者であろうと必死で頑張っています。私には人ごととは思えません。でも、私と大きく違うのは、望月さん自身が勇気を出してSNSや集会で状況を発信し、市民とともに事態を共有することで、ジャーナリストを含めた連帯の輪が広がっていることです。市民とジャーナリストの連帯、メディアを市民の手に取り戻す。希望の光がわずかに見える思いです」

「安倍君の話に戻ります。君が以前アメリカを訪問したとき、キャロルキングの『You've Got a Friend』

という曲が好きだと言いましたね。『どんなに苦しいときでも友達でいようよ』。僕も大好きですし、その感覚はわかります。でも、残念だけど、君とトランプ米大統領は友達なんかじゃない。欠陥だらけの高額な兵器を買わされるカモにされているだけです。君には戦争の中で傷ついた人、声を上げられない弱い人を思いやる気持ちが欠けています。君の『You've Got a Friend』は友達にえこひいきをし、国の仕組みを私物化することです。それは友情ではない！」

「友情とはもっと気高く素晴らしいものです。君は実力以上に大事にされました。これ以上、何を望むことがあるでしょうか。同年、同じ学年として忠告します。『これ以上、日本社会を壊すことはやめなさい！ これ以上、沖縄をいじめるのはやめなさい！ 大事な憲法をいじるのはやめておとなしく身を引きなさい！』」

「歴史から学ぶことが嫌いで、不得意の安倍君、戦争の道を断じて進んではなりません。30年前にベルリンの壁が壊れたとき、私は東欧各地の取材をしていました。そのとき、人々が何より大事だと考えたのは、言論の自由と連帯、そして多様性です。憲法21条に明記された言論・表現の自由、一方、放送法第1条には『放送は健全な民主主義に資すること』とあります。健全な民主主義というのは少数者の意見を大事にし、多様性を認め、不埒な政府の横暴にあらがい、連帯することです」

「今日は5月3日、32年前、朝日新聞阪神支局で小尻知博記者が銃弾に倒れました。言論の自由が脅かされる社会なんてあってはなりません。ここにお集まりの皆さんが思っておられるのは多分、こうだと思います。リセットすべきなのは、元号ではなく、今の政権なのだ」と

『All governments lie』今の政権は嘘をつく、今の政権は嘘をついているのです。嘘にまみれた安倍政権こそ終わりにすべきです。心あるジャーナリストとの連帯で、安倍政権を今年中に終わりにさせましょう。ありがとうございました」

護憲派集会で湯川れい子氏「9条に自衛隊書き込むインチキ許すな」

産経新聞 2019.5.3 16:48

憲法記念日の3日、東京都内で開かれた護憲派集会で、音楽評論家で作詞家の湯川れい子氏がマイクを握り、「憲法9条は世界の宝だ」と訴えた。発言の詳細は以下の通り。

◇

「私は憲法9条を守るために残りの時間をかけたいと思っています。1966年、ビートルズが武道館を使うというときに、今日のように右翼の街宣カーが走り回りました。『薄汚い西洋こじきは出ていけ』『神聖な武道館を使うな』。しかし当時、若かった私は、そんなバカな話はない。彼らの音楽は『言葉は違っても、肌(の色)が違っても、みんな楽しく生きようよ』と言っている。そのことが、若かった私には理屈を超えて分かりました」

「考えてみてください。戦争をしているところに音楽はありません。右翼の街宣カーもマーチを流しているし、ヒトラーも演説

の前にワーグナーを流した。でもそういう意図的に使われる音楽ではなく、私たちがこうして楽しく集まってみんなで歌い踊るところには殺し合いなどありません。対立があるところに平和はないのです」

「私が『憲法9条』と言うと、『そんなもので平和は守れない。自分の国の女や子供をどうやって武器がなくて守れるんだ』と言われる。違います。人間が人間を殺すことを恥じないといけないのです。本当に心から恥じないといけないのです。他の動物がそんなことをしていますか？ 自分の餌のために、自分の権利のために、自分の名誉のために殺しますか？ 恥ずかしいことに、知性がある人間だけがそのようなことをしています」

「憲法9条はあらゆる意味で、あらゆる理屈を超えて日本の宝です。世界の宝です。9条は変えないけれど、そこに自衛隊を書き込むなどというインチキは絶対に許してはいけません。どうぞ皆さん誇りを持って、恥ずかしいなどと思わないで、人を愛してください。語り合うことを信じてください。そして未来の自分がつくる平和な世界を信じてください。心から信じましょう」

しんぶん赤旗 2019年5月4日(土)

憲法集会 多彩なサブステージ

3日、東京・臨海広域防災公園で開かれた「5・3憲法集会」では、トークイベントやライブステージ、ミニ映画上映会など多彩な行事が行われました。

各分野から活発な発言 自由にトーク



(写真) 各分野から活発な発言が

された「自由に話そう！ トークイベント」＝3日、東京都江東区

「自由に話そう トークイベント」では、安倍政権をめぐる問題について登壇者と参加者が討論しました。

「辺野古」県民投票の会の元山仁士郎代表は「同じ思いをしている人たちが集まれば、県民は応えてくれると実感した。辺野古をめぐり市区町村で意見書も広がっている。その動きを進めてほしい」と訴えました。

京都大学の高山佳奈子教授は、「地方自治は揺るがせない憲法の柱の一つ。沖縄に住んでいない私たちも、地方自治を壊させないために考えなければならない」と強調しました。

日韓つながり直しキャンペーンの矢野秀喜氏は、徴用工問題について、日本の植民地支配下で動員された被害者であり、いまだに解決していないと指摘。「過去の問題ではない。ともに未来を開くために、どう解決するのがいいのか考えよう」と呼びかけました。

元NHK記者の相澤冬樹氏は、安倍政治を告発。移住者と連帯する全国ネットワークの鳥井一平代表理事は、外国人労働者の権利抑圧は日本人自身の問題だと強調しました。

参加者と一緒に考える セクハラ・賃金差別



(写真) トークイベントで、白神優

理子(奥左)、角田由紀子(その右) 両弁護士と語り合う参加者
= 3日、東京都江東区

サブステージ「それってどうなの? これっておかしくない?
#Me Too #With You」では、弁護士の角田由紀子さんと白神優理子さんが登壇。ハラスメントや賃金差別などの問題を参加者と一緒に考えました。

日本で初めてのセクハラ裁判を担当した角田氏は、国際的に遅れた刑法や被害者視点の欠如、裁判官教育の問題などが性暴力の無罪判決の背景にあると指摘し、改善を訴え。「日本の女性が悪戦苦闘しながら権利を勝ち取ってきたのも事実だ」「何であんなことが起こるのか議論し、再発防止しないとイケない」と話しました。

白神氏は、男女の賃金格差の背景にある性別役割分業や社会保障の削減を指摘。「差別は戦争と切り離せない。政権に都合が悪い人を人として認めない社会に声を上げて力を合わせる必要がある」と強調。改憲を阻止し、一人ひとりが大切にされる社会を実現させようと訴えました。

護憲派「変えるべきは政権」=改憲派は機運高揚期待一令和初の憲法記念日

時事通信 2019年05月03日 18時05分



憲法改正に反対する集会で氣勢を上げる参加者= 3日午後、東京都江東区

元号が令和に変わって最初の憲法記念日となった3日、東京都内で護憲、改憲それぞれの立場の団体が集会を開いた。安倍晋三首相が目指す2020年の改正憲法施行に護憲派が危機感を強める一方、改憲派からは改元とともに憲法改正の機運が高まることを期待する声が上がった。

江東区の東京臨海広域防災公園では、護憲派の「5.3憲法集会」が開かれ、主催者発表で約6万5000人が参加。野党党首や学者らが登壇し、「安倍政治による改憲は許さない」と訴えた。高山佳奈子京都大教授は、夏の参院選を念頭に「投票に行かないことは独裁政治を支持することになる。今変えるべきは憲法ではなく政権だ」と声を上げた。

集会の後、参加者はチラシやのぼりを手に周辺を行進。2015年の安全保障関連法成立で問題意識を持ったという横浜市の無職作本典子さん(74)は「終戦の年に生まれ、戦争なく過ごせた。4人いる孫の時代に平和憲法は残さないといけない」と話

した。



憲法改正を主張する論客が集まった公開憲法フォーラム= 3日午後、東京都千代田区

一方、改憲派は千代田区の砂防会館別館で「第21回公開憲法フォーラム」を開催。主催者発表で1100人が参加した。

安倍首相は3年連続で改憲に向けたビデオメッセージを寄せた。ジャーナリストの櫻井よしこさんは「先人たちがどんな悔しい思いで今の憲法を受け入れたかを忘れてはならない」と呼び掛け、「憲法改正なくしてわが国の再生はない。憲法審査会を一日も早く動かして、素晴らしい令和の時代と一緒に切り開いていきたい」と訴えた。

参加した都内の大学2年桜井史朗さん(19)は「昭和の時代にできて70年以上たつ。令和に入り、憲法改正も加速していかなければ」と話した。

憲法記念日、9条巡り各地で集会 護憲派「今変えるべきは政権」 2019/5/3 19:35 共同通信社



東京都江東区で開かれた護憲派の集会= 3日午後

憲法記念日の3日、各地の集会では、武力行使を禁じ戦力の不保持を定めた憲法9条を巡り、護憲派は「変えるのは政権」と訴え、改憲派は安倍晋三首相の姿勢を支持するなど、それぞれが声を上げた。

東京都江東区で開かれた護憲派の集会には、主催者発表で約6万5千人が参加。京都大の高山佳奈子教授(憲法学)は、自民党がまとめた改憲案を既存の法律で対応できるなどとして批判し「今変えるべきは憲法ではなく政権だ」と訴えた。

東京都千代田区であった改憲派の集会では、ジャーナリストの櫻井よしこ氏が「現行憲法のどこに日本の文化の薫り、伝統があるのか」と主張した。

護憲派も改憲派も各地で集会 憲法記念日の5月3日 朝日新聞デジタル 2019年5月3日 19時01分



安倍政権下での改憲に反対する集会でプラカードを掲げる参加者たち＝2019年5月3日午後、東京・有明、清水大輔撮影



憲法記念日の3日、護憲派・改憲派が各地で集会を開いた。東京・有明では、各地で「9条の会」などをつくる市民らが憲法を守ろうと訴えた。主催者発表で約6万5千人が参加した。

音楽評論家の湯川れい子さんは戦争体験後に音楽とともに歩んできた半生に触れ「みんなで歌いおどれるところに戦争はない」と主張。「『憲法9条で平和は守れない』という人がある。違う。9条はあらゆる理屈を超えて日本の、世界の宝だ」と語り、9条への自衛隊明記に意欲を示す安倍政権を批判した。

一方、東京・平河町では、憲法改正をめざす国民運動団体「日本会議」系の集会があった。

共催する「民間憲法臨調」「美しい日本の憲法をつくる国民の会」の2団体で代表を務めるジャーナリストの櫻井よしこ氏は「与党はいま、憲法改正ができる状況にある。ならば、なぜやらない。憲法審査会を一日も早く動かして、すばらしい令和の時代と一緒に切り開いていきたい」と述べた。

憲法巡り各地で集会 それぞれの思い語る 憲法記念日

毎日新聞 2019年5月3日 20時20分(最終更新 5月4日 02時47分)

憲法記念日の3日、護憲や改憲を訴える団体が各地で集会を開催。参加者はそれぞれの立場から、憲法への思いを語った。

「いま変えるべきは憲法でなく政権」――護憲派集会



「5.3 憲法集会」でプラカードを掲げる参加者＝東京都江東区で2019年5月3日午後2時3分、吉田航太撮影

安倍晋三首相が目指す憲法改正の発議に反対する団体などは、東京都江東区で「平和といのちと人権を！ 5・3 憲法集会」を開き、約6万5000人（主催者発表）が参加した。

京都大の高山佳奈子教授は「いま変えるべきなのは、憲法ではなく政権。（自民党が改憲を目指す4項目は）変えるべきではないものばかり。このような荒唐無稽（むげい）な改憲は許すことはできない」。東京大の広渡清吾名誉教授は「外交も内政も安倍政権が手詰まりであるのは明らか。安倍政権はその事態から目をそらすことで成り立っている。平成から令和への仕組まれた改元のフィーバーは一例に過ぎない」と主張した。

米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の移設問題で揺れる沖縄からは、『辺野古』県民投票の会』代表の元山仁士郎さん（27）も登壇。2月の県民投票で名護市辺野古の埋め立てに7割超が反対したにもかかわらず、移設工事が進んでいることを挙げ「なぜ沖縄の民意は反映されないのか。この国の民主主義、それを定めている憲法とは何なんですか」と問いかけた。

参加した横浜市神奈川区の団体職員、若林靖久さん（33）は「憲法に自衛隊を明記することは9条に相反する。日本を守ろうとして自衛隊に入った方々が他国の戦争に巻き込まれるかもしれないと考えたら、改憲には賛成できない」と話した。

東京都練馬区の横山昭三さん（78）は「今年はいよいよ改憲してしまうか、押し戻せるかが決まる大切な一年になると思う。『改元騒ぎ』で盛り上がっているうちに、改憲への流れが作られてしまうのは怖い」と懸念。東京都狛江市の千葉靖子さん（63）も「令和になっても憲法を大切に思う気持ちに変わりはない。9条を変えてしまえば、日本が戦争の方向に突き進むようになってしまう。子どもや孫にそんな不安は残したくない」と述べた。【川上珠実】

「現行憲法は日本民族の憲法ではない」――改憲派集会



「公開憲法フォーラム」の冒頭で映された安倍晋三首相のビデオメッセージを見る参加者たち＝東京都千代田区で2019年5月3日午後2時7分、根岸基弘撮影
改憲を目指す「美しい日本の憲法をつくる国民の会」などは東

京都千代田区で「公開憲法フォーラム」を開き、約1100人（主催者発表）が参加。安倍晋三首相のビデオメッセージが流され、政治家や学者らが改憲を訴えた。

同会共同代表でジャーナリストの桜井よしこさんは、憲法が米国の占領下で作られたものだと「誰が読んでも現行憲法は日本民族の憲法ではない。どこに日本文化の薫りがあるのか」と訴え、「この令和の時代、新しく大和の道を歩もう」と呼びかけた。

2014年にクリミア半島をロシアに編入されたウクライナ出身の留学生、ナザレンコ・アンドリーさんも登壇し、「自称平和主義者はどんな争いも話し合いで解決できると言うが、言葉によって戦争を止められるならば、その言葉を教えてほしい。抑止力なくして平和を得た国はない」と9条改正を主張した。

参加した千葉県匝瑳（そうさ）市の元金融機関職員、伊藤勝夫さん（79）は「新しい時代になり、昔はなかったようなことが起きている。憲法は時代に合わせて変えた方がいい」。東京都目黒区の元会社役員、安田信治さん（73）は「今の憲法では国民の平和や安全が守れない。令和になったが、ますます憲法を変えなければならない状況になっている」と話した。【金子淳】

平和憲法 令和も守る 施行72年集會に6万5000人

東京新聞 2019年5月4日 朝刊



集会でプラカードを掲げ「改憲反対」を訴える参加者＝東京都江東区の有明防災公園で（岩本旭人撮影）

日本国憲法施行から七十二年となる憲法記念日の三日、東京都江東区の有明防災公園（東京臨海広域防災公園）で護憲派の「5・3憲法集會」が開かれた。約六万五千人（主催者発表）の参加者が、安倍晋三政権が二〇二〇年を目標に進めようとしている九条改憲に、「許すな改憲発議」と反対の声を上げた。

司会の講師神田香織さんは、新元号の「令和」が連日のニュースをにぎわしていることに触れ「異常な改元騒ぎの陰で何が起きているのか。手を打たなくては」と呼び掛けた。

登壇した音楽評論家の湯川れい子さんは「私は八十三歳だが、九条を守るため残り時間をかけたい。あらゆる理屈を超えた日本、世界の宝だ」と決意を表明。沖縄・辺野古新基地建設をめぐる県民投票の会代表の元山仁土郎さんは「反対が圧倒的なのに工事は進んでいる。なぜ民意は反映されないのか。民主主義って何なのか」と疑問を投げ掛けた。集会后、参加者は「憲法守れ」と声を

上げながら周辺をデモ行進した。（原昌志）

「安倍改憲」反対で足並み 野党4党の党首

毎日新聞 2019年5月3日 18時03分(最終更新 5月3日 18時23分)

立憲民主、国民民主、共産、社民の野党4党の党首は3日、憲法9条改正に反対する市民団体が東京・有明の東京臨海広域防災公園で開いた集會に参加し、自衛隊の存在明記など「安倍改憲」への反対で足並みをそろえた。

国民の玉木雄一郎代表は自衛隊を明記する自民党改憲条文案について「『何も変わらない』と説明しながら、実は自衛権の範囲を無制限に広げようとしている」と批判。共産党の志位和夫委員長は、自民党案では戦力不保持を規定した9条2項が「死文化されてしまう」と訴えた。

野党は、首相が同日の改憲派の集會で「2020年の改正憲法施行」という目標に改めて言及したことにも反発。立憲の枝野幸男代表は記者団に「個人の趣味だ」と切り捨てた上で「圧倒的多数の国民が賛成する状況でなければ発議すべきではない」とけん制した。

夏の参院選は与党と日本維新の会など改憲に前向きな「改憲勢力」が3分の2の議席を維持するかが焦点。勝敗を分ける全国32の1人区（改選数1）について、立憲など野党4党は候補一本化に向けた協議を急ぐ方針だ。社民党の又市征治党首は集會で「参院選で改憲勢力3分の2を割らせ、憲法改悪を阻止する」と強調した。【浜中慎哉】

立民の枝野代表ら3野党党首 9条改正に反対

NHK 5月3日 18時53分



憲法を守る立場の団体が東京都内で開いた集會で、立憲民主党の枝野代表は「日本の立憲民主主義は大変な危機にある」と訴えたほか、ほかの野党3党の党首も自衛隊の存在を憲法に明記する自民党の9条改正案に反対する考えを示しました。

この中で、立憲民主党の枝野代表は「『知る権利』をめぐる、政府が隠蔽や改ざんを行い、指摘されても開き直るといふ、とんでもない状況にある。正しい情報が知らされ、自由な言論空間が保障されないかぎり、真の民主主義はありえない。日本の立憲民主主義は大変な危機にある」と述べました。

国民民主党の玉木代表は「安倍政権の最大の問題は、うそをつくことだ。組織としての自衛隊を書くだけで何も変わらないと説明しながら、実は自衛権の範囲を無制限に拡大しようとしているの

が自民党の案だ。何も変わらないと説明し続けるのは、まさにうそをついている」と述べました。

共産党の志位委員長は、「安倍総理大臣は、『自衛官の子どもが悲しむ』と言って、9条に自衛隊を書き込むと言うが、子どもがいちばん悲しむのは、お父さんが戦争で命を落とすことだ。自衛隊員の命をも守ってきたのが9条で、この宝を葬ろうとする改憲は、断じて許さない」と述べました。

社民党の又市党首は「9条に自衛隊を明記することは、自衛隊を戦争にもたらすもので、平和憲法の本質を軍事優先に切り替えたいというのが本質的なねらいだ。全く時代錯誤の策動を何としても食い止めよう。今変えないといけないのは憲法ではなく、安倍政権だ」と述べました。

憲法記念日 護憲呼びかける人たちが集会とデモ行進
NHK2019年5月3日 18時17分



憲法記念日の3日、憲法を守る立場の人たちが都内で集会を開き「憲法9条を守ろう」と訴えました。

東京 江東区で開かれた集会には、主催者の発表でおよそ6万5000人が参加しました。

この中で長年、憲法9条を守る活動をしている音楽評論家の湯川れい子さんが自身の戦争体験を踏まえて「戦争で人間が人間を殺すことは恥じなければいけないし、憲法9条は世界の宝です。自衛隊を憲法に明記することは許してはいけません」と呼びかけました。

このあと参加者は会場周辺でデモ行進し、横断幕やプラカードを掲げながら「戦争反対」や「憲法守れ」などと声を上げていました。

集会に参加した38歳の女性は「子育てで、ふだんは平和について考える暇がないからこそ、きょうは来ようと思いました。子どもたちのためにも戦争はしない憲法を守ってほしい」と話していました。

憲法記念日 憲法改正を求める集会
NHK2019年5月3日 18時19分



憲法改正を求める立場の人たちが都内で集会を開き、各党に憲法改正の国会発議に向けて取り組むよう求めました。

憲法改正を求める立場の「民間憲法臨調」などが開いた集会には

主催者の発表で1100人が参加しました。

駒澤大学の西修名誉教授は「平成で実現できなかった最大の案件は憲法改正だが、国会の憲法審査会では実質的な審議が全くなされていない。これを動かすことが最大の民主主義だ」と訴えました。

そして「各党に対して憲法改正の国会発議に向けて取り組むよう提唱する」といった声明が採択されました。

参加した60代の男性は「令和という新しい時代を切り開くとともに憲法改正に向けて、もっと前に進んでいくべきだと感じた。国民が正しく理解できるよう、国会できちんと議論してほしい」と話していました。

首相ビデオメッセージ全文「2020年に新憲法の気持ちに変わらない」

産経新聞2019.5.3 15:25

安倍晋三首相（自民党総裁）は、3日に都内で開かれた改憲派の集会にビデオメッセージを寄せ、「2020年を新憲法施行の年にしたい気持ちに変わりはない」と述べた。ビデオメッセージの全文は次の通り。

◇

みなさん、こんにちは。自由民主党総裁の安倍晋三です。

一昨日、皇太子殿下がご即位され、新しい時代、令和の時代がスタートしました。国民ごぞつて歴史的な皇位継承をことほぐ中、令和初の憲法記念日に「第21回公開憲法フォーラム」が盛大に開催されますことを、まづもってお喜び申し上げます。そして、改めて憲法改正の実現に向けて、それぞれのお立場で精力的に活動されている皆さまに心から敬意を表したいと思います。

自民党は立党以来、憲法改正を党是としてまいりました。2年前の、この「憲法フォーラム」でのビデオメッセージにおいて、私は「2020年を新しい憲法が施行される年にしたい」と申し上げましたが、今もその気持ちに変わりはありません。自民党においては国民主権、基本的人権の尊重、平和主義という現行憲法の3つの基本的原理は堅持しつつ、昨年、改憲4項目の条文イメージをとりまとめ、今年の運動方針においても新しい時代に即した憲法の改正に向けて道筋をつける覚悟であることを確認いたしました。

平和と繁栄を享受する一方で、大きな自然災害が相次いだ平成の時代、困難な災害の現場には、常に自衛隊員の姿がありました。夜を徹し、泥にまみれながらも、危険を顧みず、黙々と任務に当たる隊員諸君は被災された皆さんをはじめ、被災地を支える力となりました。

また、PKO（国連平和維持活動）法の制定以降、延べ約6万人の自衛隊員が世界各地で平和と安定のため、汗を流し、現地の目線に立った支援、高い規律と丁寧な仕事ぶりで国際社会から高い評価を受けてまいりました。

自衛隊はかつては厳しい目で見られた時代もありました。それでも、歯を食いしばり、ただひたすらに職務を全うしてきた。創設から60年余り、自衛隊に良い印象を持つ国民は、昭和の時代

に6割、そして7割。平成にはおよそ9割に達しています。これは自衛隊諸君が自らの手で勝ち得た信頼であります。他の誰の力でもありません。

次は政治が役割を果たすときです。すべての自衛隊員が、強い誇りを持って任務を全うできる環境を整えるため、憲法にしっかりと「自衛隊」と明記し、違憲論争に終止符を打つ。私は先頭を立て、責任をしっかりと果たしていく決意です。

そして、教育の問題。この10月から幼児教育の無償化、そして、真に必要な子供たちの高等教育の無償化を実現いたします。子供たちこそ、この国の未来そのものです。世代を超えた「貧困の連鎖」を断ち切るため、家庭の経済事情にかかわらず、教育はすべての子供たちに真に開かれたものとしなければならない。私たちはこのことをしっかりと憲法に位置付けなければならないと考えます。

新たな元号「令和」は歴史上初めて、国書である万葉集から引用したものです。厳しい寒さの後に春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、一人一人の日本人が明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたいとの願いを込め、決定しました。

憲法は国の理想を語るものであり、次の時代への道しるべであります。令和元年という新たな時代のスタートラインに立って、私たちはどのような国づくりを進めていくのか、この国の未来像について真正面から議論を行うべきときに来ているのではないのでしょうか。

国民の代表である私たち国会議員が活発な議論を行い、この国のあるべき姿を提示していく責任があることは言うまでもありません。しかし、憲法改正の主役は、もとより国民の皆さまです。多くの国民の皆さまが憲法改正について自らの問題として大いに議論をし、理解を深めていただきたい。そう願っております。

本日のフォーラムが、その大きな役割を果たすことを期待し、私のあいさつとさせていただきます。

憲法改正に向けて、ともに頑張ってください。

【憲法記念日】安倍首相「改憲の旗揚げている」 与野党超え結集努力

産経新聞 2019.5.3 05:00

安倍晋三首相は3日の憲法記念日にあたり、自身が憲法9条に自衛隊を明記する改正案を提唱して2年がたつことについて「自民党は憲法改正の旗を掲げ続けている。結党以来の党是であるにもかかわらず、わが党の中にも改憲に反対する人がいたが、その余地はなくなった」と語った。理由に関しては「自民党は一昨年10月の衆院選で、自衛隊明記を真正面から公約に掲げて国民の審判を仰いだ。その上で昨年9月の党総裁選も私はこれを掲げて勝った。党内の論争は終わった」と強調した。1日に行った産経新聞の単独インタビューで答えた。

夏の参院選で、憲法改正発議に必要な3分の2の勢力をどう確保するかについては「3分の2を超えるということは、大変ハードルが高い。憲法改正には野党の中にも賛成の人がいる。いわゆる改憲勢力ありきではなく、一人でも多くの方々に賛成していた

だけのように努力をしていきたい」と述べた。現在の自民、公明両党や日本維新の会などの改憲勢力以外からも、与野党の別なく幅広い賛同者を集めたい考えを表明したものだ。

その上で「憲法改正は最終的に国民が判断する。国会の中で3分の2を超えていく努力をして、国民に（国民投票で）判断していただけるように努力をしていきたい」と訴えた。国民投票の具体的時期は「スケジュールありきではなく、しっかりと憲法審査会でまず議論をしていただきたい」と語った。

また、自衛隊明記案については「今や多くの政党が自衛隊を合憲と認めている。国民のために命を賭して任務を遂行する自衛隊の存在を憲法上明文化し、違憲論争に終止符を打つのは政治の役割であり、私たちの世代の責任だ」と重ねて主張した。

政府や多くの政党が自衛隊を合憲と認めていることを理由に、野党から憲法明記は必要はないとの意見が出ていることに対しては「これは間違った議論だ。今でも自衛隊は合憲と言い切る憲法学者は2割にとどまる。多くの教科書に、自衛隊の合憲性には議論がある旨の記述がある。合憲というのであれば、是非賛成してもらいたい」と呼びかけた。

衆参両院の憲法審査会で議論が遅々として進まない問題については「4月25日に衆院憲法審査会が開催されたことを歓迎したい。議論を通じてこそ意見の相違が明らかになり、どちらの議論が正しいかという国民にとっての判断の材料になる」と指摘した。

【憲法記念日】安倍首相単独インタビュー詳報 「相互不信の殻を打ち破るためには、金委員長と直接向き合う以外はない」 産経新聞 2019.5.3 05:00

■憲法改正

4月25日に衆院の憲法審査会が開催されたことは歓迎したいと思います。各党が具体的な改正案を示した上で、国民的な議論が深められることが肝要です。スケジュールありきではなく、しっかりと憲法審査会で議論していただきたい。

われわれ議員に求められていることは議員同士での議論です。議論を通じてこそ相違が明らかになり、国民の皆さんの判断の材料になっていく。その中で歩み寄りの努力も求められてくると思うのです。

改憲勢力で3分の2を超えるというハードルは大変高いが、超える努力をしなければいけない。野党の中にも憲法改正に賛成される方もいます。改憲勢力ありきではなく、一人でも多くの方々に賛成していただけるように努力をしていきたいと思います。

一昨年、私は自民党総裁として、憲法9条に1項、2項を残して自衛隊を明記するという考え方を示し、議論に一石を投じました。波紋は広がり、平成29年の衆院選で自民党は自衛隊明記を真正面から公約に掲げ、国民の審判を仰ぎました。昨年の党総裁選でも私はこれを掲げて勝った。つまり党内の論争は終わったということです。

自民党は憲法改正の旗を掲げ続けています。結党以来の党是であるにもかかわらず、わが党の中にも改憲に反対する人がいたが、その余地はなくなった。自民党はいろいろな議論はしますが、一

度決定すれば一致結束して前に進んでいく。それが責任政党としての矜持（きょうじ）だろうと思いますね。

党として憲法改正の旗を掲げて衆院選でも戦ったわけですから国民に対する責任を伴っています。次の選挙においても、改正の必要性をしっかりと訴えていきたいと考えています。

いまや国民も、多くの政党も、自衛隊を合憲と認めています。国民のために命を賭して任務を遂行する自衛隊の存在を明文化し、違憲論争に終止符を打つのは政治の役割であり、私たち世代の責任です。「多くの政党が合憲と認めているからいいではないか」という議論は間違った議論です。合憲というのであれば、ぜひ賛成していただきたい。

■無条件に日朝会談

米国訪問では、トランプ大統領と首脳会談を行いました。ゴルフに行く車の中でも2人だけになり、行き帰り合わせて50分くらいの車の中でも、ベトナムの首都ハノイで行われた2回目の米朝首脳会談について詳しくうかがいました。

トランプ大統領は非常に真剣な顔つきで身を乗り出し、会談の雰囲気や金正恩（キムジョンウン）朝鮮労働党委員長がどのような表情、態度で話していたかも話してくれました。中身は詳細に申し上げられませんが、トランプ大統領は金委員長に対し、拉致問題に関する私の考えを明確に伝え、両首脳間で真剣な議論が行われたのです。

大変、有意義だったと認識しています。極めて大切な時間を使って、トランプ大統領は拉致問題について話をしてくれたわけですから。向こう側（金委員長）も、拉致問題に相当大きな、重要な意味があると受け取ったと思いますね。

もちろん国際社会が一致して（昨年シンガポールでの）米朝合意の実現に取り組むことが重要であり、北朝鮮が非核化しない限り制裁は続くなど従来の基本方針は確認しています。その上でロシアのプーチン大統領による北への働きかけを私もトランプ大統領も評価し、今後を展望し、相当に突っ込んだ意見交換をしました。

14年に5人の拉致被害者が帰国されて以来、1人の拉致被害者の帰国も実現していません。問題解決に向けて当初から取り組んできた政治家として痛恨の極みであります。拉致被害者のご家族もご高齢となる中、拉致問題の解決には、国際社会と緊密に連携しつつ、わが国が主体的に取り組むことが何より重要です。

まずは現在の日朝間の相互不信の殻を打ち破るためには、私自身が金委員長と直接向き合う以外はない。ですから条件をつけずに金委員長と会い、率直に、また虚心坦懐（たんかゝい）に話し合ってみたいと考えています。金委員長が国家にとって何が最善かを柔軟、かつ戦略的に判断できる指導者であると期待しています。

25日からトランプ大統領は国賓として来日されます。今回の来日でも拉致被害者家族の皆さんとぜひ会っていただきたいと思っていますし、私の考えは伝えております。

■輝かしい令和の時代を切り拓く

上皇さまが28年8月にお気持ちを表明されて以降、つつがなく皇位の継承が行われるよう全力を尽くしてきました。上皇さまの退位にあたるお言葉をうかがい、万感の思いと感謝の思いでい

っぱいでした。

新たに即位された天皇、皇后両陛下のお姿を拝見し、お二人の輝かしさとともに、威厳あるお姿に感銘を受けました。両陛下とともにすばらしい時を刻んでいくことになる。そういう気持ちになりました。ご即位を心からお喜び申し上げ、国民の皆さんとともに輝かしい令和の時代、一人一人の花が咲き誇る時代を切り拓（ひら）いていきたいと思っています。（阿比留瑠比、小川真由美）

暗礁に乗り上げる「安倍改憲」 距離置く公明、主要野党は抵抗 孤立する自民

毎日新聞 2019年5月3日 00時00分(最終更新 5月3日 00時19分)



安倍首相が目指す憲法改正

を巡る野党の立場

安倍晋三首相が目指す自衛隊の存在を明記する憲法改正は、夏の参院選を前に暗礁に乗り上げている。衆参両院で改憲に前向きな「改憲勢力」が3分の2を占めるものの、立憲民主党など主要野党だけでなく、連立を組む公明党も距離を置き、自民党の孤立が目立つ。参院選の結果次第で、改正を目指す項目や連携相手の再考を迫られる可能性もある。【田中裕之、小田中大、村尾哲】
残り 2295 文字 (全文 2469 文字)

憲法記念日に考える「自衛隊明記」 水島朝徳・早大教授に聞く

しんぶん赤旗 2019年5月3日 05時00分(最終更新 5月3日 11時19分)



「今の自衛隊は違憲状態になっている」と指摘

する早稲田大の水島朝徳教授＝東京都新宿区で2019年4月25日、江畑佳明撮影

3日は憲法記念日。そして安倍晋三首相の悲願は憲法改正だ。首相は最近、憲法9条への自衛隊明記を目指し「違憲論争に終止符を打つ」などと発言、議論を呼んでいる。だがこの問題に積極的に発言してきた早稲田大の水島朝徳（みずしま・あさほ）教授

(憲法学)は、安倍政権の政策こそが自衛隊を違憲状態にしていると訴えてきた。どうということなのか、その真意を尋ねた。【江畑佳明／統合デジタル取材センター】
残り 2288 文字 (全文 2479 文字)

JNN5月3日16時52分

令和初の憲法記念日、議論進まず改憲派に「あせり」？

令和初の憲法記念日の5月3日、安倍総理は「2020年に改正憲法を施行したい」考えを改めて示しました。しかし、実際の改憲論議はなかなか進まず、改憲派には焦りの色も見え隠れしています。

『2020年を新しい憲法が施行される年にしたい』と(2年前に)申し上げましたが、今もその気持ちに変わりはありません(安倍首相)

都内で開かれた改憲派の集会以ビデオメッセージを送った安倍総理。憲法への自衛隊明記について、「先頭に立って責任をしっかりと果たしていく決意」と述べ、改めて、憲法改正に強い意欲を示しました。

自民党は去年、憲法9条に新たに自衛隊を明記するなど、4項目の素案をまとめ、改憲に向け準備を進めています。しかし、安倍総理の期待とは裏腹に、国会での議論はほとんど進んでいません。

「権力を憲法によって拘束するというまっとうな社会を作るために、しっかりと連携をして安倍政権を倒す(立憲民主党 枝野幸男代表)

憲法改正などについて話し合う国会の憲法審査会は与野党の対立が続き、ようやく先週、今の国会で初めて開催されたものの、憲法改正そのものの議論はまだ行われぬ見通しです。また、公明党は9条改正に慎重な意見が大勢を占めており、与党内の“温度差”も改憲論議が進まない原因の一つです。

こうした状況を意識してか、安倍総理は今年の自民党大会で新たなアピールをしました。自衛官の募集について、6割以上の自治体から協力が得られていないと指摘し、9条改正の必要性を訴えたのです。

「憲法にしっかりと自衛隊と明記して、違憲論争に終止符を打とうではありませんか(安倍首相)

しかし、この発言についても与党内からは“もっと正攻法で攻めるべき”と異論の声が上がっています。自民党内からは方針変更すべきという声も。最初の憲法改正では、反発が強い9条の変更を見送るべきという意見も出はじめました。

「9条改正を引っ込めれば、野党は何も言えなくなる。安倍さんにとっても憲法改正というレガシー(遺産)が残るんだから(自民党 大臣経験者)

Q. 令和最初のゴルフはいかがですか

「楽しんでますよ(安倍首相)

休暇に入り、さっそくゴルフを楽しんだ安倍総理。改憲に向け、どんな道筋を描いているのでしょうか？

安倍首相、改憲20年施行の目標維持＝立憲民主の枝野代表「立

憲主義が危機

時事通信 2019年05月03日18時11分



改憲派の集会で披露された安倍晋三

首相のビデオメッセージ＝3日午後、東京都千代田区

安倍晋三首相は3日、改憲派の民間団体が東京都内で開いた集会以自民党総裁としてビデオメッセージを寄せ、自ら掲げた2020年の改正憲法施行の目標について、「今もその気持ちに変わりはない」と改めて言明した。一方、立憲民主党の枝野幸男代表は護憲派の集会以、「今、日本の立憲主義は大変な危機にある」と訴えた。

首相は「令和元年という新時代のスタートラインに立ち、国の未来像について真正面から議論を行うべき時だ」と強調。国会の活発な議論を促すとともに、国民に対し「自らの問題として議論し、理解を深めてほしい」と呼び掛けた。

9条への自衛隊明記に関しては、「私は先頭に立って責任を果たしていく」と重ねて表明。教育分野の改憲にも意欲を示した。ただし、自民党改憲案の国会への提示時期には言及しなかった。

護憲派の集会以壇上からアピールする立憲民主党の枝野幸男代表(右端)ら＝3日午後、東京都江東区

集会后、自民党の下村博文憲法改正推進本部長は記者団に「総裁の発言を重く受け止め、実現へ努力する」と語った。

また、新憲法制定議員同盟会長を務める中曽根康弘元首相のコメントが紹介され、「敗戦後、国民参加の熟議のないまま短期間で憲法をつくり、人権に偏るあまり法治上の不備不足を抱える形で戦後政治が出発した」として、改憲の必要性を訴えた。

一方、立憲民主、国民民主、共産、社民の野党4党首は東京・有明で開かれた護憲派の集会以に出席。立憲の枝野氏はあいさつで「さまざまな違いを乗り越えて『権力を憲法によって拘束する』というまっとうな社会をつくるため、安倍政権を倒す先頭に立つ」と述べた。

首相、20年改憲施行の目標堅持 野党反発、阻止へ共闘

2019/5/3 18:43 共同通信社



憲法改正派集会以に寄せられた、安倍首相

のビデオメッセージ＝3日午後、東京都千代田区

日本国憲法施行から72年となり、令和で初めて迎えた憲法記念日の3日、各地で集会が開かれた。安倍晋三首相（自民党総裁）は憲法改正派集会へビデオメッセージを寄せ、2020年に改正憲法を施行する目標を堅持していると明言した。立憲民主党などの野党は反発。幹部が護憲派集会に参加し、改憲阻止へ共闘を呼び掛けた。首相が目指す9条への自衛隊明記案を軸に、改憲の是非が夏の参院選で主要争点となるのは確実。

首相は都内での集会にメッセージを送り、自衛隊明記により「違憲論争に終止符を打つ。先頭に立ち、責任を果たす決意だ」と表明。憲法に教育充実を書き込む必要性も重ねて訴えた。



安倍晋三首相

「安倍改憲」 与野党対立で議論進まず 与党内機運しばむ

朝日新聞デジタル及川綾子、山岸一生 石井潤一郎、斉藤太郎
2019年5月4日03時00分



「第21回公開憲法フォーラム」の会場で、安

倍晋三首相のビデオメッセージが公開された＝2019年5月3日午後2時7分、東京都千代田区平河町、山本裕之撮影



安倍晋三首相のめざす2020年の改正憲法施行に向けた取り組みが足踏みしている。与野党対立に加え、参院選を前に与党内の機運もしぼんでいるためだ。衆院解散による同日選もささやかれる夏の参院選は、「安倍改憲」の成否を占う政治決戦となる。

3日午後、国会近くの砂防会館別館。安倍政権の支持基盤である日本会議が主導する改憲派団体による「公開憲法フォーラム」が開かれ、首相のビデオメッセージが約7分間にわたって流れた。

「2年前のこのフォーラムでのビデオメッセージにおいて、私は『2020年を新しい憲法が施行される年にしたい』と申し上

げたが、今もその気持ちに変わりはありません」

首相は、自ら改憲に向けてのろしを上げた2年前の5月3日を振り返り、それを受けて自民党が昨年まとめた憲法9条への自衛隊明記を含む「改憲4項目」を紹介。「令和元年という新たな時代のスタートラインに立って、国の未来像について真っ正面から議論を行うべき時に来ている」と訴えた。

だが、首相の思いとは裏腹に、国会での議論はまったく進んでいない。

昨年は森友・加計問題などをめぐる与野党対立が激化。秋の自民党総裁選後、憲法関係の役職を側近で固めた首相の人事も裏目に出た。与野党合意のもとで進んできた憲法審査会の運営をめぐる首相側近らの無理解な言動などが相次ぎ、野党が反発。首相が公言した改憲4項目の国会提示どころか、衆院憲法審では、昨年以降、一度も憲法の内容についての議論はできていない。

与党と改憲に前向きな勢力が衆参両院で3分の2を占めている夏の参院選までに発議するとシナリオは崩れた。むしろ、6月26日の国会会期末まで2カ月を切り、自民党内からすら「憲法で野党と対立が激化するのでは参院選にマイナスだ」（参院幹部）との声が強まる。自民党の下村博文・憲法改正推進本部長は先月9日、首相官邸で首相と面会し、「憲法論議で強権的な対応は避ける」との認識で一致したという。

とはいえ、首相周辺にとっては「憲法論議を一步でも前に進め、参院選後につなげたい」（自民幹部）のが本音だ。下村氏は3日の改憲派集会で、党の改憲4項目の国会提示への意欲を表明した。

今月9日には、衆院憲法審で野党側が求めてきた国民投票のテレビCM規制をめぐる日本民間放送連盟（民放連）からの意見聴取に応じる。野党に譲歩する形で自民ペースに引き込むことをねらう。

一方、野党側は、自民側の動きを警戒。「CM規制の議論だけで今国会は時間切れだ」（立憲民主党幹部）と身構える。国民民主党も、政党によるテレビCMの禁止などを盛り込んだ独自の国民投票法改正案を準備。玉木雄一郎代表は3日に出演したNHKの討論番組で、「（CM規制は）わが国の民主主義の根幹を支えるシステムだ」と述べ、CM規制の議論の必要性を繰り返し訴えた。

（及川綾子、山岸一生）

3分の2議席確保焦点の参院選、「リスク高い」

夏の参院選で焦点となるのは、首相が進める憲法改正をめぐり、国会発議に賛同する3分の2の議席を確保できるかどうかだ。

現在、参院では自民、公明の与党に加え、改憲に前向きな日本維新の会などを合わせると165議席で、3分の2（162議席）をわずかに上回る。

夏の参院選では、1票の格差是正に伴う定数増で3分の2が164議席に増える。今回の改選は88議席。3分の2を占めるには87議席以上が必要となる。

今回改選を迎える議員が当選した6年前の参院選は、12年の政権復帰の余波もあり、自民党の議席占有率が01年の小泉内閣発足直後を上回る大勝だった。自民党内では「反動減」を予測する声が多く、「ある程度の減少幅は覚悟の上」（自民幹部）の選挙戦となる。

首相「2020年、新しい憲法の施行を」 改憲派が集会 朝日新聞デジタル 2019年5月3日 18時28分



改

憲派団体による「第21回公開憲法フォーラム」で壇上に上がった出席者＝2019年5月3日午後4時8分、東京・平河町、山本裕之撮影

憲法記念日の3日、改憲派の集会が各地であった。東京・平河町で開かれた改憲団体「日本会議」系の「公開憲法フォーラム」では、安倍晋三首相がビデオメッセージで改めて「2020年の新憲法施行」への意欲を表明。令和への改元を機に、改憲議論を進めるべきだと訴えた。

安倍首相は、同集会における2年前のメッセージで、「2020年を新しい憲法が施行される年にしたい」と述べたことについて、「今もその気持ちに変わりはありません」と言及。9条への自衛隊明記も「違憲論争に終止符を打つ。私は先頭に立って責任をしっかりと果たしていく」と語り、改憲の先導役を担う考えを示した。

超党派で新憲法の制定をめざす議員同盟会長の中曾根康弘元首相もメッセージを寄せ、「現行憲法の果たした役割を評価しつつ、真に国民の手による国民のための憲法を制定するときに至っている」として、早期の改憲を訴えた。

同集会には、改憲に賛同する与野党の責任者が参加。自民党の下村博文・憲法改正推進本部長は「一度も憲法改正、修正できなかった時代を脱却しよう」と、改憲議論の必要性を強調。公明党の遠山清彦衆院議員は「公明党の基本的姿勢は加憲。この立場から積極的に憲法議論に参加していく」と語った。

集会を開いた「美しい日本の憲法をつくる国民の会」の桜井よしこ共同代表は、「新しい未来を構築していくため、何としても憲法改正を発議していただきたい」と呼びかけ、国会における憲法審査会での議論の進展を求めた。

また都内では別の改憲派の集会も開かれ、憲法9条を中心に早期の改正が必要などと主張した。

首相、20年改憲目標「変わらず」 「自衛隊」明記に意欲

日経新聞 2019/5/3 14:38 (2019/5/3 21:08 更新)

安倍晋三首相（自民党総裁）は令和に改元後初めての憲法記念日である3日、憲法改正を推進する民間団体が都内で開いた集会にビデオメッセージを寄せた。2年前に示した2020年に新憲法を施行する目標について「いまでもその気持ちは変わらない」と強調した。「憲法にしっかりと『自衛隊』と明記し、違憲論争に終止符を打つ」と改めて意欲を示した。

参院選の負け幅を減らすため、衆院選との同日選論もくすぶるが、衆院解散後の政治状況で風向きが変わることもあり、「大変リスクの高い選挙」（斉藤鉄夫・公明党幹事長）でもある。

仮に3分の2議席を割れば、野党が勢いづき、改憲機運は冷え込む。自民党の幹事長経験者は「党内の改憲論は小さくなっていくだろう」と言う。

だが、安倍政権は改憲を強く求める支持層に支えられてきただけに、首相にとっての改憲は政権維持の根幹にかかわる。日本会議に近い議員の一人は「安倍首相の憲法改正は本気だ。保守をまとめるために言っているだけだと言う人がいるが、本当にそうだったら引きずり下ろされる」と話す。

そこで首相周辺が照準を定めるのが、改憲に前向きな議員が多い国民民主党の存在だ。4月15日にあった首相と石原慎太郎・元東京都知事や亀井静香・元金融相らとの会食では、改憲に向けた道筋が話題となり、「(国民代表の) 玉木氏を政権入りさせ、改憲勢力に巻き込めばいい」との声も出たという。

いまは「安倍改憲」への反対でまとまる野党側も一枚岩ではない。

国会での主導権争いなどをめぐって、立憲と国民の間にはなお不信感がくすぶる。今後、参院選に向けた候補者調整などでさらに摩擦が強まる可能性もある。国民からは「立憲と組むぐらいなら、自民に入党する」という声も漏れる。(石井潤一郎、斉藤太郎)

首相「違憲論争に終止符を」 改憲に意欲、見通し立たず

朝日新聞デジタル及川綾子 2019年5月4日 03時00分



「第21回公開憲法フォーラム」の会場で、安倍晋三首相のビデオメッセージの映像が公開された＝2019年5月3日午後2時7分、東京都千代田区平河町、山本裕之撮影

安倍晋三首相は憲法記念日の3日、憲法改正を求める集会にビデオメッセージを寄せ、「憲法にしっかりと『自衛隊』と明記し、違憲論争に終止符を打つ」と述べて9条改正に改めて意欲を示した。2020年の改正憲法施行をめざす気持ちは変わらないとも強調したが、国会での議論は与野党対立の影響で停滞している。

自民党は昨年、首相の意向に沿った「改憲4項目」をまとめ、国会への提示をめざす。首相は3日のメッセージで、自衛隊の根拠規定を明記する9条改正について「先頭に立って責任を果たしていく決意だ」と述べた。17年の同集会に寄せたメッセージで示した20年の改正憲法施行にも触れ、「今もその気持ちに変わりはない」とした。

一方、与野党の憲法担当者らが…
残り：298文字／全文：599文字



首相は3日、憲法改正集会にビデオメッセージを寄せた（提供=民間憲法臨調/憲法国民の会）

首相は憲法9条に自衛隊の存在を明記するとして自民党改憲案に関して「すべての自衛隊員が誇りを持って任務を全うできる環境を整える」と説明した。「先頭に立って責任をしっかりと果たす決意だ」と語った。

自民党改憲案が記す教育充実の狙いにも触れ「真に必要な子どもたちの高等教育無償化を実現する」と主張した。「家庭の経済事情にかかわらず、教育はすべての子どもに開かれたものにする。憲法にしっかりと位置づけなければならない」と理解を求めた。

「令和元年という新時代のスタートラインに立ち、この国の未来像について真正面から議論を行うべき時に来ている」と改憲論議を呼びかけた。自民党改憲案の国会への提示時期には言及しなかった。集会、同党の下村博文憲法改正推進本部長は記者団に「総裁の発言を重く受け止め、実現へ努力する」と話した。

公明党の北側一雄憲法調査会長はBSフジ番組で「スケジュールありきではなく、まず合意形成が大事だ」と慎重姿勢を示した。立憲民主党の枝野幸男代表は都内で護憲派の集会に出席し「権力を憲法によって拘束するまっとうな社会をつくるため、安倍政権を倒す先頭に立つ」と訴えた。

改憲、与野党に慎重論 首相は20年目標を堅持

2019/5/3 20:03 情報元日本経済新聞 電子版

安倍晋三首相（自民党総裁）は3日、2020年に新憲法を施行する目標を堅持すると表明し、自らの手で憲法改正を実現する意欲を示した。自民党改憲案には連立を組む公明党が慎重なほか、立憲民主党などが衆参両院の憲法審査会で改憲案の議論に応じていない。



東京都江東区で開かれた護憲派の集会で改憲阻止などを訴える人たち（3日午後）=共同



憲法改正派集会に寄せられた、安倍首相のビデオメッセージ（3日午後、東京都千代田区）=共同

自民党改憲案は(1)憲法9条への自衛隊明記(2)緊急事態条項(3)参院選の「合区」解消(4)教育充実——の4項目で構成する。日本維新の会の足立康史国会議員団幹事長代理は3日、改憲派の集会で「教育無償化に正面から向き合うなら維新は9条改正も含めて自民党と手を携える」と述べた。

だが、公明党の北側一雄憲法調査会長は3日のNHK番組で「違憲論があるから自衛隊明記というのはいま一步、十分理解できない」と語り、慎重姿勢を示した。

立民、国民民主、共産、社民の野党4党首は3日、護憲派の集会に出席した。立民の枝野幸男代表は集会后、記者団に「圧倒的に多くの国民が賛成する状況でなければ憲法改正を発議すべきではない」と強調。国民民主の玉木雄一郎代表は集会で9条改正に触れ「自衛権の範囲を無制限に拡大する」と懸念を示した。

首相の自民党総裁としての任期は21年9月までとなる。同党内では総裁4選論も出ている。

来年改憲改めて明言 憲法記念日 首相がビデオメッセージ 産経新聞 2019.5.3 16:22

安倍晋三首相は、日本国憲法施行から72年となる憲法記念日の3日、改憲派集会に自民党総裁としてビデオメッセージを寄せ、2年前に2020（令和2）年の改正憲法施行を目指すことについて「今もその気持ちに変わらない」と明言した。

首相は自身が提唱した憲法9条への自衛隊明記に関して「全ての自衛隊員が強い誇りを持って任務を全うできる環境を整える」と意義を説明し、「違憲論争に終止符を打つ。私は先頭に立って責任を果たしていく」と意欲を示した。

教育の充実を憲法に位置づける必要性にも言及し、「家庭の経済事情にかかわらず、教育はすべての子供たちに真に開かれたものとしなければならない」と主張した。

その上で、令和への改元後初の憲法記念日であることを踏まえ、「令和元年という新たな時代のスタートラインに立って、私たちはこの国の未来像について真正面から議論を行うべき時に来ている」と国会での活発な議論を呼びかけた。

集会は、ジャーナリストの櫻井よしこ氏をはじめ有識者らでつくる「民間憲法臨調」などが東京都内で主催した憲法フォーラム。首相は平成29年の同じ集会で令和2年の改正憲法施行と自衛隊明記を提唱し、これを受けて自民党は昨年3月、自衛隊明記や教育充実など4項目の独自の改憲案をまとめた。首相は3日のメッセージで、残る緊急事態条項創設と参院選「合区」解消の2項目には言及しなかった。

しんぶん赤旗 2019年5月4日(土)

“来年施行変わらない” 改憲派集会 首相がメッセージ

安倍晋三首相は3日、改憲推進派が東京都内で開いた集会に自民党総裁としてビデオメッセージを寄せ、自身が目標とする2020年の新憲法施行について「今もその気持ちに変わりはない」と述べ、改憲への執着を示しました。

安倍首相は、自衛隊を明記する改憲について「その先頭に立って責任を果たしていく決意だ」と強調。改元を「新たな時代のス

「スタートライン」として、「国会議員がこの国のあるべき姿を提示していく責任がある」と述べ、改憲議論の活発化を訴えました。

集会は、改憲派の有識者でつくる「民間憲法臨調」と、改憲・右翼団体「日本会議」のフロント団体「美しい日本の憲法をつくる国民の会」の共催。

集会では、下村博文・自民党憲法改正推進本部長が、国会の憲法審査会で自民党の4項目の改憲条文素案を発表し、「7月の参院選で憲法議論をさらに前に進める」と意欲を表明しました。

首相 自衛隊明記など憲法改正実現し来年の施行を目指す

NHK2019年5月3日 19時16分

憲法改正を目指す立場の人たちで作る団体が主催した会合が東京都内で開かれ、安倍総理大臣はビデオメッセージで、自衛隊の明記など憲法改正を実現し、来年の施行を目指す考えを改めて示しました。



この中で安倍総理大臣は「憲法にしっかりと自衛隊を明記し違憲論争に終止符を打つため、先頭に立ち責任を果たす決意だ。令和という新たな時代のスタートラインに立って、真正面から議論を行うべき時に来ているのではないか」と述べました。

そして「2年前にもビデオメッセージで『2020年を新しい憲法が施行される年にしたい』と申し上げたが、今もその気持ちに変わりはない」と述べ、憲法改正を実現し、来年の施行を目指す考えを改めて示しました。

また会合で、自民党の下村憲法改正推進本部長は「憲法改正ができなかった時代を脱却し、新しい「み代（御代）」と共に憲法改正によって日本をつくっていききたい。野党ともよく話し合いながら、参議院選挙までに国会の憲法審査会で積極的な議論をしてもらいたい」と述べました。

公明党の遠山憲法調査会事務局長は「憲法改正の議論は、言論の府であり改正案を發議する権能を持つ国会でこそ活発に行われなければならないことは論を待たない。公明党の基本的な姿勢は『加憲』で、今後もこの立場から積極的に議論に参加していく」と述べました。

さらに、日本維新の会の足立康史衆議院議員は「現下の日本を取り巻く状況の中で9条の改正を検討のそ上に載せるべきなのは明らかだ。われわれが提示した教育無償化に自民党が正面から向き合うなら、手を携えて9条改正を含め、前に進めていく」と述べました。

希望の党の松沢代表は「自民党の自衛隊の明記では極めて不十分で、9条の2項を削除して自衛隊の役割をしっかりと書き込むべきだ。改正したい条項を持っている政党は発表し、一刻も早く、できればこの1～2年で合意を作り上げるよう努力していく」と述べました。

自民党の下村憲法改正推進本部長は記者団に対し、「党の最高責

任者である安倍総裁の発言なので、重く受け止め、現場で汗をかきながら、できるだけ実現するよう努力していきたい。自民党だけで憲法改正の發議に必要な3分の2の議席があるわけではないので、野党の協力を得られるよう努力が必要だ」と述べました。

JNN5月3日 20時13分

首相、改めて「2020年に改正憲法 施行」

「令和」初の憲法記念日となった3日、安倍総理は改憲派の集会にビデオメッセージを寄せ、「2020年に改正憲法を施行したい」という考えを改めて示しました。

『「2020年を新しい憲法が施行される年にしたい」と（2年前に）申し上げましたが、今もその気持ちに変わりはありません』（安倍首相）

安倍総理は改憲派の集会に寄せたビデオメッセージでこのように述べたうえで、憲法への自衛隊明記についても「先頭に立って責任をしっかりと果たしていく決意」として、改めて憲法改正に意欲を示しました。

「権力を憲法によって拘束するというまっとうな社会を作るために、しっかりと連携をして安倍政権を倒す」（立憲民主党 枝野幸男代表）

一方、野党側は「日本の立憲民主主義は大変な危機にある」などとして、安倍総理が主張する憲法改正に反対する姿勢を示しました。

JNN5月3日 10時59分

令和初 憲法記念日、安倍首相 改憲への意欲表明へ

3日は令和になって初めての憲法記念日です。安倍総理は、憲法改正を目指す保守派の集会にビデオメッセージを寄せ、改憲への意気込みを改めて示します。

2日から休日入りしている安倍総理は、午後、都内で開かれる憲法改正を目指す保守派の集会にビデオメッセージを寄せ、憲法改正に取り組む考えを改めて訴える予定です。一方、立憲民主党の枝野代表ら野党の幹部は、憲法改正に反対するグループの集会に参加します。

憲法改正を巡っては、安倍総理が2年前の憲法記念日に2020年に改正憲法の施行を目指す考えを示したことを受け、自民党は憲法9条への自衛隊の明記など4項目のたたき台を作りました。しかし、9条の改正については与党内でも公明党を中心に慎重な意見が根強いほか、野党側も「憲法改正を論議する環境がない」などとして、実質的な議論が進んでいないのが現状です。

連休明けには今の国会で2度目の憲法審査会が開かれる予定ですが、夏の参院選挙が終わるまでは国会における本格的な憲法論議は進まない見通しです。

こうした中、JNNは先月の世論調査で憲法改正について質問しました。今の日本国憲法を改正すべきか聞いたところ、「改正すべき」は40%で、「改正すべきでない」の38%を上回りました。調査方法が異なるため単純に比較はできませんが、去年4月に同じ質問をした際とは逆の結果でした。

「改正すべき」と答えた人に、憲法改正の国会での發議の時期

について聞いたところ、「今年中」と「来年中」と答えた人が共に39%でした。

安倍総理は憲法9条について、戦争放棄や戦力を持たないことなどを定めた今の条文は変えずに、新たに自衛隊を明記する考えを示していますが、この考えを支持するか聞いたところ、「支持する」と答えた人は50%で、「支持しない」が37%でした。

改憲、安倍首相に手詰まり感＝「20年施行」道筋見えずー3日は憲法記念日

時事通信 2019年05月03日07時09分

日本国憲法は3日で施行から72年を迎える。安倍晋三首相は2020年の改正憲法施行になお意欲を示すが、宿願実現への道筋は見えないまま「期限」は迫る。立憲民主党など主要野党は「安倍改憲に反対」との姿勢を崩しておらず、夏の参院選の結果は、改憲論議の行方を占う。

首相は4月23日の改憲派集会にメッセージを寄せ、「新しい時代のスタートラインに立ち、この国の未来像を真正面から議論を行うべき時に来ている」と、改憲論議の進展を強く促した。

自民党は昨年、9条への自衛隊明記など4項目の改憲案をまとめた。今国会では、商業施設などに「共通投票所」を設ける国民投票法改正案を速やかに成立させ、党改憲案提示の環境を整えたい考えだ。

だが、統計不正確問題などで野党側が対決姿勢を強めたため、衆院憲法審査会の実質審議入りは5月9日までずれ込むことになった。同日の審査会は、野党が求めている国民投票運動のテレビCMを議論。与党は同改正案の採決を提案したが、野党は消極的だ。

立憲は政党CMを全面的に規制する独自案の作成に着手。立憲幹部は「同法改正案を今国会で採決することはない」と強調した。

公明党も改正案の処理は容認しているものの、改憲には慎重姿勢を強めている。改憲論議には野党第1党の立憲の協力が必要と唱えており、公明幹部は「自民党が自由討議を強行するなら、出られない」と語った。こうした状況に、会期末を6月26日に控え、自民党の閣僚経験者は「改憲論議の本格化は早くても参院選後」と漏らす。

参院選で、改憲の国会発議に必要な3分の2の議席を確保するためには、与党に日本維新、希望両党を加えた「改憲勢力」で計88議席を獲得する必要がある。4党の改選は計87だが、自民党は13年参院選で大勝したため、今回は議席減を予想する見方が多い。参院選で3分の2を維持できなければ、改憲は一層困難になる。

首相の自民党総裁としての任期は21年9月末まで。首相は「(現在の)3期目が最後」として総裁4選を否定しており、悲願である改憲に向けてもう一つの期限も迫りつつある。

改憲派・反対派が集会 首相もメッセージ

NNN2019年5月3日 16:27

憲法記念日の3日、憲法改正派、改正反対派それぞれの団体が集会を開いた。憲法改正を訴える集会には安倍首相がビデオメッセ

ージを寄せ、2020年の新憲法の施行に改めて意欲を示した。全文を読む

憲法記念日の3日、憲法改正派、改正反対派それぞれの団体が集会を開いた。

憲法改正を訴える集会には安倍首相がビデオメッセージを寄せ、2020年の新憲法の施行に改めて意欲を示した。

安倍首相「私は(2年前)『2020年を新しい憲法が施行される年にしたい』と申し上げましたが、今もその気持ちに変わりはありません」

さらに安倍首相は「憲法にしっかりと『自衛隊』と明記して、違憲論争に終止符を打つ」などと強調した上で、「真正面から議論を行うべき時に来ている」と国会での議論の進展を求めた。

立憲民主党・枝野代表「権力は憲法によって正当化され、憲法によって拘束される。この立憲主義は近代社会であれば当然の前提です。しっかりと連携をして安倍政権を倒す」

国民民主党・玉木代表「実は自衛権の範囲を無制限に拡大しようとしているのが今の自民党の案なんです」

共産党・志位委員長「この宝(憲法9条)を葬ろうとする改悪は断じて許さない」

一方、憲法改正反対派の集会に参加した野党各党は憲法改正を実現したい安倍政権への対立姿勢を鮮明にした。

2分で分かる 憲法改正議論なぜ進まない?

NNN2019年5月3日 17:10

憲法記念日の3日、憲法改正を訴える集会に安倍首相がビデオメッセージを寄せ、「真正面から議論を行うべき時に来ている」と、国会での議論の進展を求めた。憲法改正の議論がなぜ進まないのか? 政治部の菅原薫記者が解説。

憲法記念日の3日、憲法改正を訴える集会に安倍首相がビデオメッセージを寄せ、「真正面から議論を行うべき時に来ている」と、国会での議論の進展を求めた。憲法改正の議論がなぜ進まないのか? 政治部の菅原薫記者が解説。

◆議論は進んでいないのか?

自民党が自衛隊の明記を含む4項目の改憲案をまとめた去年3月以来、国会の正式な場では一度も憲法改正についての議論は行われていない。

理由は大きく二つある。まず、憲法改正に反対する野党が議論に応じないこと。保守の色合いの強い安倍首相がスケジュールを示して議論をリードしようとしていることに反発しているため。そしてもう一つは選挙。今年は夏に参議院議員選挙が行われるが、与党・公明党も9条の改正には慎重な姿勢で、選挙前に議論を進めることを嫌がっているという事情もある。

◆憲法改正の議論に期待は?

議論が行われないうまま閉幕した去年の臨時国会後の世論調査では、与野党が憲法改正について議論することを「期待する」と答えた人がおよそ7割に上っている。国会の議論そのものは望まれている。

さらに憲法改正と一口に言っても、9条だけでなく、教育なども議論のポイントになっているし、最後は私たちが国民投票で決め

るわけだから、オープンな議論が私たちの判断材料にもなる。

◆安倍政権のうちに憲法改正まで行くのか？

安倍首相が述べている来年の新憲法施行は、政府与党内からもさすがに現実的ではないという声が上がっている。

では、安倍首相の任期中、つまり再来年9月までにできるのかどうかだが、安倍首相に近い政権幹部は「改憲までできなくても道筋を付けられれば良いのではないか」と話していた。

今後、まずポイントとなるのは夏の参院選。現在は、いわゆる改憲勢力が憲法改正に必要な3分の2以上の議席を衆参両院で占めているが、参院選でそれを維持できるかどうか焦点となる。

「憲法に『自衛隊』と明記」…首相、改めて強調

読売新聞 2019/05/03

安倍首相（自民党総裁）は3日、東京都内で開かれた憲法改正を求める民間団体の集会で、『2020年を新しい憲法が施行される年にしたい』と言ったが、今もその気持ちに変わりはないとのビデオメッセージを寄せた。17年5月に同じ集会で表明した目標を、引き続き追求する考えを示した。

首相は「憲法にしっかりと『自衛隊』と明記し、違憲論争に終止符を打つ。先頭に立って責任を果たしていく決意だ」と語り、自衛隊の根拠規定を明記する9条改正の必要性を改めて強調した。

改憲に前向きな勢力は衆参両院で国会発議に必要な3分の2を超えているが、国会での憲法論議は停滞している。首相は、「令和元年というスタートラインに立って、この国の未来像について真正面から議論すべき時に来ている」と述べ、各党に活発な議論を呼びかけた。

安倍首相、改憲派集會にビデオメッセージ 「気持ち変わらない」

毎日新聞 2019年5月3日 18時58分(最終更新 5月4日 02時49分)



「公開憲法フォーラム」の冒頭で映された

安倍晋三首相のビデオメッセージ＝東京都千代田区で2019年5月3日午後2時5分、根岸基弘撮影

安倍晋三首相（自民党総裁）は憲法記念日の3日、憲法改正推進派の民間団体が東京都内で開いた集會にビデオメッセージを寄せ、「2020年に改正憲法施行」とする目標について「今もその気持ちに変わりはない」と改めて意欲を示した。自衛隊の存在を明記する改憲にも触れ「私は先頭に立って責任をしっかりと果た

していく決意だ」と強調した。

首相は17年の同じ集會に寄せたメッセージで、20年の改正憲法施行の目標と自衛隊明記を提起した。昨年は触れなかったが、今年は、党総裁3選によって任期が21年9月まで延びたことを踏まえ、改憲実現への意欲を再アピールした形だ。保守層の期待に応える面もあるとみられる。

首相は、自民党がまとめた4項目の改憲条文案に盛り込まれた「教育の充実」にも触れ、「家庭の経済事情にかかわらず、教育は全て子どもたちに真に開かれたものとする。しっかりと憲法に位置付けなければならない」と訴えた。また、国会の憲法審査会を念頭に「国会議員が活発な議論を行い、この国のあるべき姿を提示する責任がある」として議論の進展に期待感を示した。

一方、公明党の北側一雄副代表は3日のNHK番組で、自衛隊の存在を明記する改憲について「多くの国民は（自衛隊を）憲法違反だとは全く思っていない中で、違憲論があるから自衛隊明記だと言うのは今一步十分理解できないところがある」と述べ、疑問を呈した。【遠藤修平、立野将弘】

安倍総理が改憲集會にビデオメッセージ 意欲強調

ANN2019/05/03 23:37

安倍総理大臣は憲法改正推進派の集會にビデオメッセージを寄せ、来年中に改正憲法を施行するという目標に変わりがない考えを強調しました。

安倍総理大臣：「私は2020年を新しい憲法が施行される年にしたいと申し上げましたが、今もその気持ちに変わりはありません。憲法にしっかりと自衛隊と明記し、違憲論争に終止符を打つ。私はその先頭に立って責任をしっかりと果たしていく決意です」

安倍総理はこのように憲法9条に自衛隊を明記する改正に改めて意欲を示したほか、教育の無償化についても「しっかりと憲法に位置付けなければならない」と強調しました。

【報ステ】安倍総理 “2020年に憲法改正を実現”

ANN2019/05/03 23:30

憲法記念日の3日、安倍総理は東京都内で開かれた改憲派の集會にビデオメッセージを寄せ、2020年に憲法改正を実現したい考えを改めて示した。自民党がまとめた改憲案のなかで柱となる“9条への自衛隊の明記”については、「すべての自衛隊員が強い誇りを持って任務を全うできる環境を整えるため、憲法にしっかりと『自衛隊』と明記し、違憲論争に終止符を打つ」と述べた。ただ、国会では改憲に向けた議論が進んでいない。こうしたなか、先月、安倍総理の側近、萩生田幹事長代行の「新しい時代になったら少しワイルドな憲法審査を自民党は進めていかなければいけない」という発言に対し、野党は、さらに態度を硬化させた。安倍総理が打ち出す通り、2020年に新憲法を施行しようとする、夏の参院選後に議論を加速させ、年明けの通常国会で憲法改正を発議し、秋以降に国民投票を実施するという日程になる。テレビ朝日政治部の足立直紀デスクは「安倍総理のメッセージは去年までと比べるとトーンダウンした。目標通り憲法改正しようとする、まず夏の参院選で3分の2の改憲勢力をキープ

しないといけな。もし3分の2をキープできたとしても、すでに日程はかなりタイト。そういった厳しい状況でも安倍総理を支持する保守層の悲願でもあるために目標は下げられないのが現状だ」と指摘した。

総理「2020年に新憲法…気持ち変わらず」 野党辛辣

ANN2019/05/03 17:09

憲法改正への意欲は失っていないようだ。

新天皇の即位に伴う行事などを終えて休暇中の安倍総理大臣。3日は学生時代の友人らとゴルフを楽しんだ。その安倍総理のビデオメッセージが憲法改正に関するフォーラムで公開された。

安倍総理大臣：「私は2020年を新しい憲法が施行される年にしたいと申し上げましたが、今もその気持ちに変わりはありません」

改めて憲法改正に意欲を示した安倍総理。夏に参院選が控えるなか、こうも続けた。

安倍総理大臣：「憲法にしっかりと自衛隊と明記し、違憲論争に終止符を打つ」

これに対して野党は、

立憲民主党・枝野代表：「そもそもが立憲主義を理解していない総理大臣でありますから、立憲主義を理解していない方のご発言が障害があるのは当然のことだと思います」

共産党・志位委員長：「権力によって縛られるべき内閣総理大臣が自ら改憲の旗振りをする。このこと自体、憲法違反じゃないですか。彼に憲法を語る資格などありません」

改憲で論戦 与党「参院選争点に」 野党「政権倒す」

産経新聞 2019.5.3 21:48

憲法記念日の3日、与野党幹部が改憲派と護憲派それぞれの集会で論戦を繰り広げた。改憲派集会では自民党幹部が参院選で憲法改正を争点化すべきだと主張し、公明党や日本維新の会なども衆参両院の憲法審査会の議論を進めるよう訴えた。一方の護憲派の集会では、立憲民主党など主要野党が安倍晋三政権下での改憲阻止を呼びかけた。

改憲派の「新しい憲法をつくる国民会議」が東京都内で主催した集会では、自民党の下村博文憲法改正推進本部長が参院選について『改憲に前向き』『まったく前向きでない』という視点からも（投票先を）選んでいただきたい」と述べた。下村氏は「民間憲法臨調」などが開いた改憲派集会にも出席し、自衛隊明記など4項目の党改憲案について「憲法審で発表したい」と意欲を示した。

同じ集会で公明党の遠山清彦衆院議員は「加憲の立場で積極的に議論に参加する」と語ったが、同党の改憲に対する姿勢に不満を持つ聴衆から「だったらやれ！」とやじが飛び場面もあった。日本維新の会の足立康史衆院議員は自民党に改憲に向けた連携強化を呼びかけた。

一方、立憲民主党の枝野幸男代表は護憲派団体が都内で開いた集会で「権力を憲法で拘束する真っ当な社会をつくるため、各党としっかりと連携し、安倍政権を倒す先頭に立つ」と強調。共産党

の志位和夫委員長も『安倍政権による9条改憲は許さない』の一点で市民と野党の共闘を広げる」と足並みをそろえ、拍手を浴びた。ただ、国民民主党の玉木雄一郎代表は「令和初めての憲法記念日…」と切り出した直後に、元号反対派と目される聴衆から『令和』って言うな！」と怒声を浴び、野党共闘の限界を露呈した。

これに先立つNHK番組では自公間の憲法観の違いも浮き彫りになった。公明党の北側一雄副代表は番組内で「自民党が憲法審で意見表明したいということまで拒否するのは、いかがなものか」と消極姿勢の野党に苦言を呈する一方で、自衛隊明記案について「自衛隊違憲論を払拭したいとの理由は理解できないではない。ただ、多くの国民は違憲だとは思っていない」と懐疑的な見方を示した。

憲法記念日の各党幹部発言要旨

産経新聞 2019.5.3 21:16

3日の憲法をめぐる与野党幹部の主な発言は次の通り。

◇

自民党・下村博文憲法改正推進本部長「新しい元号の下で新しい日本をつくっていく。その象徴が憲法改正ではないか。日本国憲法はGHQ（連合軍総司令部）の主導の下でできたものであり、いまだに改正も修正もしていない。まず問われるのが参院選だ。憲法改正に『前向き』『まったく前向きでない』という視点からも選んでいただく。自民党が先頭に立ち、憲法改正に向け、日本をさらによくしていく」（東京都新宿区の集会）

公明党・北側一雄副代表「一部の自衛隊違憲論を払拭（ふっしょく）したいという自民党の思いは理解できないではない。ただ、多くの国民は憲法違反だとは思っていない。必要性などをしっかり論議すべきだ。自民党改憲4項目について憲法審査会での意見表明まで（野党が）拒否するのはいかがなものか。異論があれば批判すればいい。一気に憲法改正が進むとは思っていない」（NHK番組）

立憲民主党・枝野幸男代表「知る権利は、政府が隠蔽・改竄（かいざん）を行い、指摘をされても開き直るといってとんでもない状況にある。権力は憲法によって正当化され、憲法によって拘束される。権力を憲法によって拘束するというまっとうな社会をつくるために、各党としっかりと連携して安倍晋三政権を倒す。その先頭に立っていく」（東京都江東区の集会）

国民民主党・玉木雄一郎代表「自民党の案には『必要な自衛の措置を講じることができる』と書いている。実は自衛権の範囲を無制限に拡大しようとしている。安倍政権はわが国の独立を担保、強化したいというのが、それなら大きな主権が制約されている日米地位協定改定こそ真っ先に取り組むべきだ」（同）

共産党・志位和夫委員長「権力によって縛られるべき首相が自ら改憲の旗を掲げること自体、憲法違反だ。『安倍政権による9条改憲は許さない』の一点で市民と野党の共闘を広げ、参院選で安倍政治にサヨナラの審判を下し、政権もろとも9条改憲の企てを葬り、9条が生きる平和日本を一緒につくろう」（同）

日本維新の会・浅田均政調会長「2050年には人口が1億を割

るといわれる時代の国家経営モデルを今の憲法規定で実現できるのか。『地方自治』の章を手厚く書いていく必要がある。自民党が改正項目として提案するならば、議論する用意はある。自衛隊が違憲だという見解を正すために9条を変えるならば、自民党の提案のようにはない」(NHK番組)

社民党・又市征治党首「最近、安倍首相の改憲の声がちょっとトーンダウンしているというふうに言われている。そりゃそうだろう。『改竄、偽装、捏造(ねつぞう)、安倍晋三』。こんな批判を受けて、本当に嘘つき内閣だ。今、やらなきゃならんこと、変えなきゃならんことは憲法ではなく安倍政権である」(東京都江東区の集会)

自民・下村氏「違憲論争に終止符」 改憲に改めて意欲

産経新聞 2019.5.3 12:57

自民党の下村博文憲法改正推進本部長は3日のNHK番組で、憲法9条への自衛隊明記など同党の憲法改正案4項目について「自衛隊を明記することで違憲論争に終止符を打つ。自衛隊は誰が見ても合憲だと決着をつけることが歴史的に大変重要だ」と強調し、改めて理解を求めた。「夏の参院選でも憲法で戦っていく」と述べ、選挙戦を通じて憲法改正の必要性を国民に訴えかけていく考えも示した。

また、主要野党が審議拒否を続けている衆参両院の憲法審査会に関して「これ(自民党改正案)だけに拘泥しているわけではない」と語り、野党側に憲法審査会での議論に応じるよう呼びかけた。公明党の北側一雄副代表も「(自民党が)憲法審査会で意見表明したいということまで拒否するのは、いかがなものか」と同調した。

これに対し、共産党の小池晃書記局長は「憲法審査会は憲法改正の発議が目的の組織だ。国民の多数が改憲を求めている中で動かす必要はない」と反論。社民党の照屋寛徳(かんとく)衆院議員も「憲法改正を前提とした議論を国民は望んでいない」と反発し、平行線をたどった。

JNN5月3日20時04分

自民・下村氏「参院選までに自民の改憲4項目を議論したい」

自民党の下村憲法改正推進本部長は、都内で行われた改憲派の集会で、夏の参議院選挙までに自民党の改憲4項目について、憲法審査会で議論したいとの考えを示しました。

「7月に参院選挙があります。それまでに衆参国会で、憲法審査会で積極的な議論を是非してもらいたい。自民党は4項目、是非、憲法審査会で発表したい」(下村博文 憲法改正推進本部長)

下村氏は、自民党が発表した憲法9条に自衛隊を明記するなどの改憲4項目について、夏の参議院選挙までに国会の憲法審査会で議論を行い、その結果を踏まえ、参議院選挙での争点にしたという考えを示しました。

また、国会では連休明けの9日、衆議院の憲法審査会が開かれ、憲法改正の国民投票をめぐるテレビCM規制について、関係者からヒアリングを行う予定ですが、下村氏はさらにその日のうちに継続審議となっている国民投票法改正案についての質疑と採決

をしたいとの意向を示しました。しかし、野党側は「資金力の差で投票行動を左右しかねない」として、与党側の改正案にはない政党によるテレビCM規制を含む改正を求めているため、反発が予想されます。

憲法記念日 自民「自衛隊明記を」立憲など「認められない」

NHK5月3日13時44分



憲法記念日の3日、NHKの番組で、自民党は、憲法に自衛隊の存在を明記する必要があるとして国会の憲法審査会で議論するよう呼びかけたのに対し、立憲民主党などは、自民党の9条改正案は認められないなどと主張しました。

自民党の下村憲法改正推進本部長は「政府は自衛隊を合憲と説明しているが、違憲だと主張している学者も多い。9条は変えず、解釈も変えない中で、自衛隊を明記することによって今までの違憲論争に終止符を打ちたい。これから憲法審査会で説明したいと思っているが、各党はそれに全くこだわる必要はない。議論する中でまとまっていく流れができてくれればありがたい」と述べました。

立憲民主党の山花憲法調査会長は「後法優位の原則があるので、1項と2項を残すという主張は解釈論としては無理がある。民主党政権のときにも自衛隊の合憲を前提に予算を組んでおり、政治的には決着がついている。学者が言うことを、なぜ、そんなに気にするのかよく分からない」と述べました。

国民民主党の玉木代表は「9条も議論すればいいと思うが、自衛隊の組織を書く改正だと言いながら、実態はいちばん本質である自衛隊自体が極めて広がってしまう。解釈を変えないと言うが、解釈は誰がするのか。自衛隊がどうあるのかという本質的な議論をすべきだ」と述べました。

公明党の北側憲法調査会長は「一部の自衛隊違憲論を払拭(ふっしょく)したいという思いは理解できないではない。ただ、多くの国民は憲法違反だとは思っておらず、違憲論があるから明記するというのは十分理解できないところがある。必要性などをしっかり論議すべきだ」と述べました。

共産党の小池書記局長は「1ミリも変わらないと言うが、何百メートルも憲法解釈を動かしてきたのが安倍政権で、憲法に自衛隊を書き込んでしまったら、フリーハンドで海外で戦争ができる国になってしまう。絶対に許してはいけない」と述べました。

日本維新の会の浅田政務調査会長は「自民党が改正項目として提案するならば、議論する用意はある。しかし、自衛隊が組織として違憲だという見解を正すために9条を変えるならば、自民党の提案のようにはない」と述べました。

希望の党の井上政策調査会長は「自衛隊は戦力であると明確に位

置づけたうえで、国会と内閣がシビリアンコントロールを徹底してやっていくふうにする。これが大事だ」と述べました。社民党の照屋憲法部会長は「自民党が提案する4項目の憲法改正案には断固として反対だ。そもそも多くの国民は、専守防衛に徹する自衛隊は容認している」と述べました。

しんぶん赤旗 2019年5月4日(土)

安倍政権に憲法語る資格なし 憲法記念日 NHK討論 小池書記局長が批判

日本共産党の小池晃書記局長は3日、NHKの憲法記念日特集の政党討論番組に出演し、改憲について議論しました。この中で「自衛隊明記」の9条改憲を含めた自民党改憲4項目をめぐり、同党の下村博文憲法改正推進本部長が連休明けの衆院憲法審査会で「説明したい」と述べたことに対し、小池氏は「首相自ら任期中の改憲を主張すること自体が、憲法尊重擁護義務違反であり、立憲主義の破壊だ。違憲の法案を強行してきた安倍政権に憲法を語る資格はない」と厳しく批判。国民は改憲を求めているとして、改憲発議を目的とする審査会開催に反対を表明しました。

小池氏は、9条1項、2項を残した上での「自衛隊明記」の案について「後から書かれた条文は、元の条文に優先するのが法律の大原則」だと指摘し、「1項、2項が無効となり、無制限の海外での武力行使につながる」と批判。下村氏が「解釈は変えない」と述べたことに対し、安倍政権の下で自衛隊は海外の戦闘地域で集団的自衛権を行使し、空母まで持とうとしていると紹介し、「1ミリも変わらないというが、すでに何百メートルも憲法解釈を動かしてきた。さらに憲法に自衛隊を書き込めば、フリーハンドで海外で戦争できる国になってしまう」と強調しました。

下村氏が「解釈改憲には限界がある」と述べたのに対し、小池氏は「安保法制＝戦争法の制約すら乗り越えて、無制限で武力行使することになる」と指摘しました。国民民主党の玉木雄一郎代表は自民党の条文イメージ案では「自衛権の範囲が無制限に拡大する」と批判。小池氏は「市民と野党で力を合わせ、参院選で改憲の策動に審判を下そう」と訴えました。

しんぶん赤旗 2019年5月4日(土)

NHK「憲法記念日特集」 小池書記局長の発言

日本共産党の小池晃書記局長は3日のNHKの憲法記念日特集番組に出演し、安倍9条改憲をめぐって各党代表と議論を交わしました。

政治変えてこそ新たな時代

冒頭、「新しい元号のもとで、変えるべきものは変える」（下村博文・自民党憲法改正推進本部長）などと「新しい時代」だから“改憲せよ”との意見が出たことに対し、小池氏は「政治が変わらなければ、新たな時代にはならない」と強調。自民党政治が9条も個人の尊厳もないがしろにし、安倍政権は9条解釈を閣議決定でひっくり返したと指摘し、「こうした立憲主義の蹂躪(じゅうりん)が政治モラルの大崩壊につながり、ウソと忖度(そんたく)の政治が国政の信頼を揺るがしている。たとえ元号が変わっても帳消しにできない」と強調。「日本に必要なのは憲法を変えるこ

とではなく政治を変えることだ。憲法の先駆的な人権規定と9条を生かした新たな政治をつくる」と訴えました。

9条理念生かし平和外交を

憲法9条が戦後の日本社会に果たした役割をめぐっては、下村氏が「(9条の) 平和主義というより、自衛隊や日米安保条約によって今の平和が保たれている」などと発言。小池氏は「憲法9条があったから日本は戦後、戦死者を一人も出さず、海外で外国の人を殺さなかった」と指摘し、「国際情勢が変わったというが、朝鮮半島の平和体制の構築、非核化を実現する上でも、9条の理念を生かした平和外交に本格的に取り組むことこそ、今の時代に求められている日本の役割だ」と強調しました。

無制限の武力行使を可能に

安倍晋三首相提案の「自衛隊明記」の9条改憲について、下村氏が自衛隊を明記しても9条1項、2項は残し、「9条の解釈も変えない」などと強弁。これに対し小池氏は、たとえ憲法9条1項、2項が残っても、自衛隊は「自衛のために必要な措置を取ることを妨げない」との条文が書かれると説明。「後から書かれた条文は元の条文に優先するのが法律の大原則だ」と指摘し、「結局、1項、2項が無効になって、無制限の海外での武力行使ということにつながる」と批判しました。

また現在の自衛隊は、安倍政権のもとで、海外の戦闘地域で集団的自衛権を行使する自衛隊であり、「専守防衛」の建前を投げ捨てて空母まで持ち、イラク日報の隠蔽(いんぺい)に示されたようなシビリアンコントロール(文民統制)の利かない自衛隊だと強調。「1ミリも変わらないというが、すでに何百メートルも憲法解釈を動かしてきたのが安倍政権だ。この上憲法に自衛隊を書き込めば、フリーハンドで海外で戦争できる国になってしまう」と批判しました。

小池氏の発言を受け、立憲民主党の山花郁夫憲法調査会長は「小池議員の指摘通りで、解釈論に無理がある」と批判。国民民主党の玉木雄一郎代表は「自衛権の範囲が無制限に広がる。自衛隊明記論はやめた方がいい」と表明しました。

下村氏が「解釈改憲には限界がある」と述べたことに対し、小池氏は「やはり安保法制の制約すら乗り越えて、無制限で海外で武力行使するということだ」と批判しました。

参院選で改憲策動に審判を

討論では憲法審査会についても議論に。下村氏が、司会者から通常国会中に憲法審査会で改憲4項目の提示を目指すのかと問われ、「(審査会は) 与野党の合意の中で開かれる」とした上で、「4項目をきちっと審査会の場で説明させていただきたい。討議をして、その中でまとまる流れができてくれればいい」と発言。今国会中に改憲案を審査会に提示するとの姿勢をあらわにしました。

公明党の北側一雄憲法調査会長は「1項、2項を変えないというなら、本当に変えない条項になっているのか、しっかりと論議をすべきだ」「憲法審査会で意見表明をしたいということまで拒否するのはいかがなものか」と述べ、審査会での改憲論議の加速をあおりました。日本維新の会と希望の党の改憲勢力が同調しました。

小池氏は、「国民多数が改憲を求めている中で、改憲発議を目的とする憲法審査会を動かす必要はない」と主張。現在の改憲論議は、安倍首相が自ら旗を振り、「任期中の改憲」を主張しているとして、「憲法第99条の憲法尊重擁護義務違反であり、立憲主義の破壊だ」と強調し、「安倍政権が狙っている改憲には道理も大義もないし、国民の支持もないということは明らかだ。これまで憲法違反の法案を次々強行してきた安倍政権に憲法を語る資格はない」と厳しく批判しました。

また「朝日」の世論調査（3日付）で72%が改憲の機運は高まっていないと回答し、9条を「変えない方がよい」との声は64%に増えていると指摘し、「このようなやり方での改憲は許さないと野党は一致し、市民のみなさんとの運動も広げていく。参議院選挙で、改憲の策動ができなくなるような審判を下す」と表明しました。

9条改正の自民案に公明異論＝憲法めぐり野党論戦

時事通信 2019年05月03日 15時08分

憲法記念日の3日、与野党幹部がNHKの討論番組で、憲法をめぐり議論した。9条に自衛隊を明記する自民党改憲案について、公明党は異議を唱えた。

自民党の下村博文憲法改正推進本部長は「違憲論争に終止符を打ち、自衛隊は合憲だと明確にしたい」と強調。これに対し、公明党の北側一雄憲法調査会長は必要に応じた憲法改正は認めつつ、「違憲論があるから自衛隊明記というのはいま一步、理解できない」と語った。立憲民主党の山花郁夫憲法調査会長も「（自衛隊合憲は）政治的には決着がついている」と指摘した。

国民民主党の玉木雄一郎代表は「自衛権の範囲が無制限に広がる」と自民案に懸念を表明。国会での憲法論議自体は、改憲手続きを定めた国民投票法の改正も含めて進めるべきだと主張した。

共産党の小池晃書記局長は「安倍政権が狙う改憲には大義も国民の支持もない」と改憲阻止を訴え、社民党の照屋寛徳国対委員長も「憲法改正を前提とした議論を国民は望んでいない」と述べた。

日本維新の会の浅田均政調会長は教育無償化などの明記を提唱。希望の党の井上一徳政調会長は9条改正を主張した。

改憲、自衛隊明記で賛否 NHK 番組で与野党議論

2019/5/3 13:41 共同通信社

与野党幹部は憲法記念日の3日、NHK 番組で憲法改正を巡り議論した。自民党の下村博文憲法改正推進本部長は憲法9条への自衛隊明記など4項目の党改憲案に理解を求め、「違憲論争に終止符を打つ。歴史的決着をつける」と述べた。

公明党の北側一雄憲法調査会長は「違憲論を払拭したいとの理由は理解できない」とした。

立憲民主党の山花郁夫憲法調査会長は、自衛隊明記で憲法解釈は変わると反対。国民民主党の玉木雄一郎代表は「自衛権の範囲が無制限に広がりかねない」と警戒した。共産党の小池晃書記局長は「海外で戦争できる国になる」とし、社民党の照屋寛徳国対委員長は「断固反対」を訴えた。

改憲、自衛隊明記で賛否 NHK 番組で議論

毎日新聞 2019年5月3日 14時43分(最終更新 5月3日 15時19分)

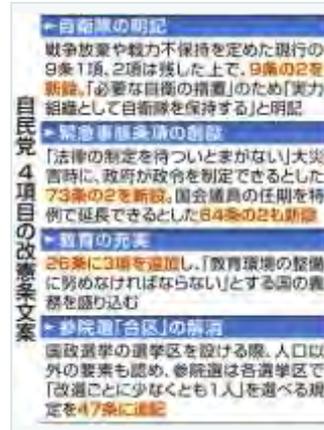
与野党幹部は憲法記念日の3日、NHK 番組で憲法改正を巡り議論した。自民党の下村博文憲法改正推進本部長は憲法9条への自衛隊明記など4項目の党改憲案に理解を求め、「違憲論争に終止符を打つ。歴史的決着をつける」と述べた。

公明党の北側一雄憲法調査会長は「違憲論を払拭(ふっしょく)したいとの理由は理解できない」とした。

立憲民主党の山花郁夫憲法調査会長は、自衛隊明記で憲法解釈は変わると反対。国民民主党の玉木雄一郎代表は「自衛権の範囲が無制限に広がりかねない」と警戒した。共産党の小池晃書記局長は「海外で戦争できる国になる」とし、社民党の照屋寛徳国対委員長は「断固反対」を訴えた。(共同)

3日、憲法記念日 自民改憲案、与野党分断

中日新聞/東京新聞 2019年5月3日 朝刊



三日、新元号「令和」で初めての憲法記念日を迎えた。国会での憲法論議は、自民党が昨年三月に四項目の改憲条文案をまとめて以降、衆参両院の憲法審査会で一回も議論が行われていない。改憲を性急に進める安倍晋三首相（自民党総裁）の姿勢が、静かに議論する環境を失わせ、与野党協調の上になり立つ憲法論議が進まなくなっている。

「いよいよ結党以来の課題である憲法改正に取り組む時が来た」昨年三月二十五日、東京都内のホテルで開かれた自民党大会で、首相はこう宣言した。

その三日前、党憲法改正推進本部は、自衛隊の存在明記など四項目の改憲条文案の意見集約を終えていた。二階俊博幹事長は大会で「この案をもとに憲法審で議論を深め、原案を策定し、発議を目指す」と強調。改憲勢力は衆参両院で、改憲発議に必要な議席を占めており、二〇二〇年の新憲法施行を目指す首相は、一八年中にも発議することを目指した。

ところがその後、幹事の選任手続きなどを除いて、両院の憲法審は開かれていない。特に衆院憲法審は、一八年の通常国会と臨時国会、今国会と、現時点まで三国会にわたって議論ゼロ。今月九日、約一年半ぶりに議論を行う予定だが、国民投票時のCM規制をテーマにした参考人招致であり、自民党が目指す改憲条文案

の提示はない見通し。

自民党が条文案をまとめる前は、両院の憲法審では普通に議論が行われ、テーマ別に参考人質疑や自由討議が行われていた。議論が止まったのは、森友、加計（かけ）問題で与野党の対立が激化した影響もあるが、自民党が、目指す改憲像を具体的に決めた事実が大きい。従来は一般論の枠内だった憲法論議が党派性を帯び、与野党が落ち着いて議論できる環境ではなくなった。

条文案の決定後、首相は憲法審での提示に再三意欲を示し、党の推進本部長には側近の下村博文氏を起用した。野党側は「『憲法は公権力を縛るルール』という定義を理解していない方と議論しても仕方ない」（立憲民主党の枝野幸男代表）と、憲法で縛られている首相が改憲を押し進めることに反発を強めていった。

二〇〇〇年に設置された衆院憲法調査会で会長を務めた中山太郎元外相は、本紙の書面インタビューに応じ、今の憲法論議は与野党が分断されていると懸念。「与野党の合意形成に粘り強く努力すべきだ」と訴える。「国会は期限を設けることなく熟議してほしい」と、日程ありきの改憲も戒めている。

（清水俊介）

首相、進まぬ改憲議論にいらだち

東京新聞 2019年5月4日 朝刊

<解説> 首相が二〇二〇年の改憲施行目標を改めて明言し、「先頭に立つ」と強い意欲を示した背景には、改憲議論が思い通りに進まないことへのいらだちがある。

自党内や国会議論の中心メンバーに側近を配置したのに、改憲議論は進んでいない。衆参両院で改憲勢力が発議可能な三分の二を維持する現状を生かせていないとして、首相支持層からは不満も漏れる。三日の集会で、主催団体代表の桜井よしこ氏は「憲法改正できる状況にあるのに、なぜやらないのか」と語った。

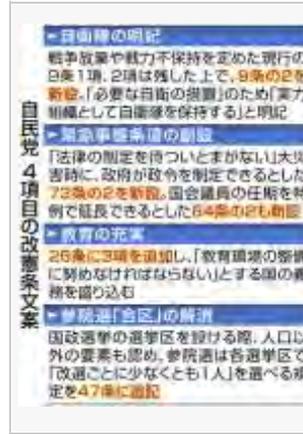
首相はこれまでの「国会で、各党の議論が深められることを期待している」と一歩引いた姿勢を変え、局面打開を狙った。だが思惑通りにいくとは限らない。国会の憲法論議は、首相が前面に出るとかえって進まなくなることが繰り返されてきた。二年前に首相が二〇年施行に言及。自民党が改憲四項目の条文案をまとめて以降、衆参の憲法審査会で議論は一回も行われていない。改憲を急ぐ首相の姿勢が、与野党協調の上に成り立つ憲法論議の土台を壊した。

与野党協調による国会の憲法論議の礎を築いた中山太郎・元衆院憲法調査会長は本紙の書面インタビューに「国会は期限を設けることなく熟議してほしい」と答えている。（清水俊介）

自民改憲条文案後 憲法審議論ゼロ 急ぐ首相 与野党分断

東京新聞 2019年5月3日 朝刊

三日、新元号「令和」で初めての憲法記念日を迎えた。国会での憲法論議は、自民党が昨年三月に四項目の改憲条文案をまとめて以降、衆参両院の憲法審査会で一回も議論が行われていない。改憲を性急に進める安倍晋三首相（自民党総裁）の姿勢が、静かに議論する環境を失わせ、与野党協調の上に成り立つ憲法論議の土台を壊している。（清水俊介）



「いよいよ結党以来の課題である憲法改正に取り組む時が来た」昨年三月二十五日、東京都内のホテルで開かれた自民党大会で、首相はこう宣言した。

その三日前、党憲法改正推進本部は、自衛隊の存在明記など四項目の改憲条文案の意見集約を終えていた。二階俊博幹事長は大会で「この案をもとに憲法審で議論を深め、原案を策定し、発議を目指す」と強調。改憲勢力は衆参両院で、改憲発議に必要な議席を占めており、二〇二〇年の新憲法施行を目指す首相は、一八年中にも発議することを目指した。

ところがその後、幹事の選任手続きなどを除いて、両院の憲法審は開かれていない。特に衆院憲法審は、一八年の通常国会と臨時国会、今国会と、現時点まで三国会にわたって議論ゼロ。今月九日、約一年半ぶりに議論を行う予定だが、国民投票時のCM規制をテーマにした参考人招致であり、自民党が目指す改憲条文案の提示はない見通し。

自民党が条文案をまとめる前は、両院の憲法審では普通に議論が行われ、テーマ別に参考人質疑や自由討議が行われていた。議論が止まったのは、森友、加計（かけ）問題で与野党の対立が激化した影響もあるが、自民党が、目指す改憲像を具体的に決めた事実が大きい。従来は一般論の枠内だった憲法論議が党派性を帯び、与野党が落ち着いて議論できる環境ではなくなった。

条文案の決定後、首相は憲法審での提示に再三意欲を示し、党の推進本部長には側近の下村博文氏を起用した。野党側は「『憲法は公権力を縛るルール』という定義を理解していない方と議論しても仕方ない」（立憲民主党の枝野幸男代表）と、憲法で縛られている首相が改憲を押し進めることに反発を強めていった。

二〇〇〇年に設置された衆院憲法調査会で会長を務めた中山太郎元外相は、本紙の書面インタビューに応じ、今の憲法論議は与野党が分断されていると懸念。「与野党の合意形成に粘り強く努力すべきだ」と訴える。「国会は期限を設けることなく熟議してほしい」と、日程ありきの改憲も戒めている。

<改憲勢力の議席> 2016年参院選の結果、自民、公明両党と、改憲に前向きなおおさか維新の会（当時）、日本のこころを大切にする党（同）に一部無所属議員を加えた改憲勢力は、衆参両院で、改憲発議に必要な3分の2以上の議席を超えた。今も自公と日本維新の会、保守系議員でつくる希望の党、一部無所属議員を合わせ、3分の2以上を維持している。

く、こういう場所で意見を戦わせればいいのでは、今のままで進めれば、反対の声が置き去りになってしまう」と注文を付けた。

一方、都内で開かれた改憲派の集会。神戸市のミニコミ紙経営葛目（くずめ）浩一さん（82）は「改憲施行は安倍さんにしかできない。リーダーシップを発揮し、ぜひ実現して」と評価した。ただ、戦力不保持を定めた九条二項を維持したまま自衛隊を明記する自民党改憲案については物足りないといい「国民が改憲に慣れれば、もう一步進める」と、将来的な九条二項の削除に期待した。

千葉市の主婦小川玉枝さん（71）も「できればもっと強く言うてほしかったが、いろいろな絡みがあって仕方ないのでしょいか」と残念がる。改憲が実現しないまま令和元を迎えたことには「平成の間に改正できれば良かったが、去年より機運が高まっていると感じる」と話した。

（長竹祐子、原田遼、宮尾幹成）

与党の慢心と野党の恐怖心 改憲議論を阻害 元衆院憲法調査会長・中山太郎氏に聞く

2019年5月3日 朝刊



2005年2月、与野党議員が議論する衆院憲法調査会。中央は中山会長＝国会で

中山太郎・元衆院憲法調査会長は本紙の書面インタビューで、憲法論議に与野党の信頼関係は不可欠であり、性急に進めるものではないと強調した。（清水俊介）

－かつての憲法論議を振り返り、どう感じるか。

「二〇〇〇年に設置された憲法調査会は、共産党を含む護憲派の参加も得て濃密な調査を行い、報告書をまとめた。時折困難な状況に直面しつつ、各党の理解を得ながら、着実に歩みを進めてこられた」

－調査会の運営では、どんなことを意識したか。

「憲法はいかなる政党が政権に就いても守るべきルールを定めた国の基本法だから、憲法論議には与党も野党もない。幅広い政党の参加を得た上で、少数意見を十分に尊重して議論を尽くすことを常に心がけた。『政治的な思惑・党利党略から距離を置いて冷静に議論する』という共通認識を持つことが必要。このような運営方針が実行できたのは、与野党で協力して信頼関係を構築できたからだ」

－今、衆参両院で改憲勢力が三分の二以上を占める一方、憲法審査会での議論は動いていない。

『改憲勢力』というくくりが憲法論議を阻害した最大の要因に思えてならない。与党には『いざとなったら押し切れる』という慢心が、野党は『もしかしたら押し切られる』という恐怖心が

芽生え、結果として与野党を分断し、建設的な議論を阻害してしまった。与党はより一層丁寧な運営を心がけ、野党は憲法審を政局に絡めないようにして、一緒になって建設的な議論を行うことを望みたい」

－安倍晋三首相（自民党総裁）は二〇年の新憲法施行を目指している。

「目標を持つこと自体は否定しないし、総裁の発言が党内論議を加速させたのは事実。ただ、憲法改正は国会の仕事だから、これより先の議論は、国会での各党の取り組みに任せればよい。国会は期限を設けることなく熟議してほしい」

－改憲に前向きな勢力だけで発議してもよいか。

「幅広い合意のないまま提出や発議をしても、国民投票で承認を得ることは困難。憲法改正を真に実現したいのであれば、与野党の合意形成に粘り強く努力すべきだ」

－自衛隊明記のように、国論を二分するテーマでも国民投票にかけてよいか。

「初回の改正は必ず成功させなければならない。国民の理解が得られるテーマで発議する必要がある。それを担保するのが国会の熟議。熟議を経れば、理解が得られる案に昇華させることは可能ではないか」

＜なかやま・たろう＞ 1968年参院選で自民党から立候補し初当選。参院3期、衆院7期を務め、沖縄開発庁長官や外相を歴任。衆院憲法調査会長、衆院憲法調査特別委員長を務め、国会の憲法論議を主導した。94歳。

＜憲法調査会と憲法審査会＞ 憲法について総合的に調査するため2000年、衆参両院に「憲法調査会」が設置され、05年に報告書をまとめた。07年、両院に「憲法審査会」を設置。憲法調査会と異なり、改憲原案の提出や審査などの役割が与えられている。

「最悪の天皇の政治利用に」改憲めぐって共産・志位氏

朝日新聞デジタル 2019年5月3日 21時26分



共産党の志位和夫委員長

共産・志位和夫委員長（発言録）

「安倍9条改憲」は許さない。自衛隊を（憲法9条に新たに）書くだけだ、ということ（自民党議員らは）言うが、実際は海外での無制限の武力行使に道を開くものだ。許さない。これに尽きる。（天皇陛下の）代替わり、あるいは改元と絡めて改憲、ということになったら、これは最悪の天皇の政治利用ということになる。（東京都内で記者団に）

公明、首相改憲目標にくぎ刺す 北側氏「合意形成が大事」

2019/5/3 22:40 共同通信社

公明党の北側一雄憲法調査会長は3日のBSフジ番組で、安倍晋三首相が2020年に改正憲法を施行する目標の堅持を明言したことにくぎを刺した。「首相の意欲として受け止めるが、スケジュールありきではない。まずは国会の合意形成が大事だ」と述べた。

首相は同日の憲法改正派集会へのビデオメッセージで、2年前に打ち出した施行目標に改めて言及した。

立憲・山尾氏「憲法議論、9条議論しっかりやるべきだ」

朝日新聞デジタル 2019年5月3日 23時42分



立憲民主党の山尾志桜里衆院議員

立憲民主党憲法調査会事務局長・山尾志桜里氏（発言録）

（憲法9条に定められている）戦力を持たないことと、自衛隊がある現実。建前と現実のギャップ、ここに限界がきている。憲法議論は9条から避けられないし、9条の議論は安保政策の議論から離れられない。これはしっかりやるべきだ。われわれ政治家もそれぞれの支援団体、支持者の建前論から卒業し、間に取り残されている国民を見て、個人としての意見も少しずつ表現していくことが大事だ。（3日夜、BSフジの番組で）

悩む公明 維新との関係修復 橋下氏インタビュー

産経新聞 2019.5.3 21:54

公明党が大阪府知事・大阪市長のダブル選で日本維新の会系に大敗した余波で苦境に立たされた。維新創設者の橋下徹元大阪市長が産経新聞の単独インタビューで、維新が次期衆院選で公明現職に対抗馬を擁立する構えだと明言し、安倍晋三首相が宿願とする憲法改正や大阪都構想をめぐる公明に揺さぶりをかけた。夏の参院選に合わせた衆参同日選が取り沙汰される中、公明は維新との関係修復に頭を悩ませている。

「憲法制定時に予想もしなかったような新しい価値観が形成されるのであれば、改正で新しい規定を加えるやり方を訴えてきた」

公明党の山口那津男代表は2日、都内の街頭演説で党の「加憲」の考え方を重ねて示したが、具体的な改憲テーマには踏み込まなかった。公明党は、支持母体の創価学会に改憲への抵抗がなおあり、改憲議論に距離を置いてきた。一昨年の衆院選で議席を減らしたことも懸念材料にあり、「参院選で改憲が争点になることは避けたい」（党幹部）のが本音だ。

そうした公明の急所を突くように、橋下氏はインタビューで「改憲を阻んでいるのは公明」と断じた。改憲で安倍政権に協力すると強調して公明を揺さぶり、都構想で協力を引き出す狙いがある。

都構想で維新と決裂した公明にとって衆院選での維新との住み分けは欠かせない。関係修復の糸口となりそうなのが大阪市議会だ。

都構想の是非を問う住民投票の実施には府議会と市議会、法定

協議会のそれぞれで過半数の賛成が必要だが、維新は市議会でも過半数に2議席足りない。公明内には、住民投票の実施に協力して“手打ち”にすることを望む意見もある。しかし、党内で都構想に最も反対したのは大阪市議だけに、着地点は見えていない。（大橋拓史）

改憲「公明が妨げ」 首相へ協力 橋下徹氏、維新に促す 産経新聞 2019.5.3 20:57

日本維新の会の創設者で、政界引退後も同党に大きな影響力を持つ橋下徹元大阪市長が産経新聞の単独インタビューに応じ、2025年大阪・関西万博の誘致などで安倍晋三政権の協力を得てきた維新に対し「安倍首相が実現したいと強く願っている憲法改正に協力するための行動を起こすべきだ」と訴えた。

橋下氏は憲法改正の妨げとなっているのは公明党と、選挙で同党の支援を受ける自民党の国会議員だと強調。4月の大阪府知事・市長のダブル選を制した維新を率いる大阪市の松井一郎市長を「首相に匹敵する改憲論者」とした上で「ダブル選の勢いに乗じて、公明を潰していくことを考えている」との認識を示した。

具体的な手段については、公明の現職議員がいる大阪府と兵庫県の衆院計6選挙区に「維新はエース級のメンバーを準備できていると思う」と述べた。自身はその6人の中に含まれていないとも語った。

一方、維新が目指す「大阪都構想」の実現に向けて公明が賛成に転じれば、対立する理由は消滅すると指摘した。その上で「自民の大阪市議団が改憲を実現したいならば、公明よりも先に都構想への協力を決断すべきだ」と牽制（けんせい）した。

旧知の菅（すが）義偉（よしひで）官房長官が「ポスト安倍」の候補に急浮上していることについては「大阪にとっては大ハッピーな話。引き続き大阪のために力を貸してもらえと思う」と歓迎した。

橋下氏が公明を激しく批判する一方で、自民に憲法改正を呼びかけた背景には、両党の協力関係にくさびを打ち、維新が目指す大阪都構想の実現を後押しする狙いがあるとみられる。

幣原喜重郎の「憲法9条」掛け軸発見 軍備よりソフトパワー 漢詩に思い託し

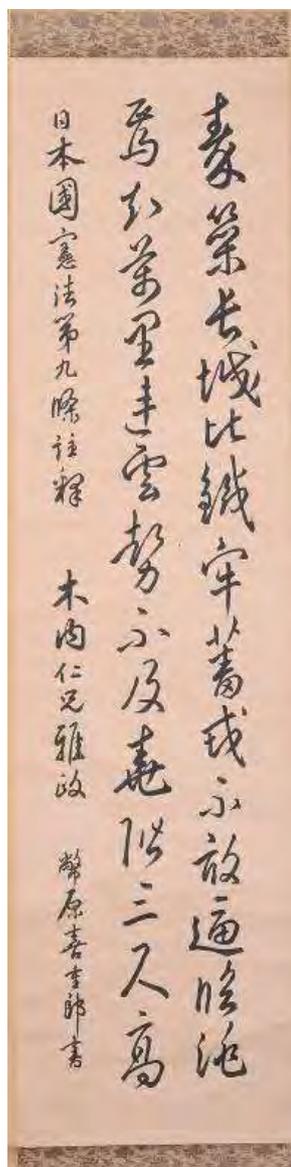
毎日新聞 2019年5月3日 07時00分（最終更新 5月3日 07時00分）

戦後2人目の首相として連合国軍総司令部（GHQ）との憲法制定交渉に当たった幣原（しではら）喜重郎（1872～1951年）が在任中、憲法9条への思い入れを託したとみられる漢詩の掛け軸を千葉県在住の歴史家、大越哲仁さん（57）が発見した。掛け軸は長年、所在不明になっていた。

漢詩は、軍備よりもソフトパワーを重視する国防のあり方を詠み、「日本国憲法第九条注釈」と添え書きされている。大越さんは、戦争放棄と戦力不保持をうたった9条の意義を幣原が漢詩に投影したとみている。専門家によると、幣原が制定過程の憲法について当時、私的に記した史料は珍しいという。

漢詩は唐代の詩人、汪遵（おうじゅん）の「長城」。「秦長城を

築いて鉄牢（てつろう）に比す。蕃戎（ばんじゅう）敢（あ）えて臨※（りんとう）に逼（せま）らず。焉（いづく）んぞ知らん万里連雲の勢（いきおい）。及ばず堯階（ぎょうかい）三尺の高きに」と読み下せる。「鉄壁のような万里の長城も（古代中国の伝説の名君）堯帝（ぎょうてい）の質素な宮殿に及ばなかった」が大意だ。



幣原喜重郎・元首相の掛け軸



幣原喜重郎・元首相

掛け軸は、幣原内閣の副書記官長（現在の内閣官房副長官に相当）を務め、後に参院議員となった木内四郎（1896～1988年）に幣原から贈られたという。81年に幣原の長男が「週刊文春」誌上、木内宅にあると記して以降、所在が分からなくなっていた

が、このほど木内の遺族宅で見つかった。

幣原は46年1月、東京のGHQ本部でマッカーサー最高司令官と密談し、皇室護持と戦争放棄で合意したとされるが、詳細は不明。大越さんは近著「マッカーサーと幣原総理」（大学教育出版）で、幣原が後年、側近に語った記録やマッカーサーの証言から、幣原が密談の席上で9条を提案したと論じている。

「週刊文春」への長男の寄稿によると、幣原が掛け軸を木内に贈ったとされるのは46年3月。GHQから示された憲法草案を受け、日本政府側で憲法草案をまとめていた時期に重なる。大越さんは「幣原は『軍備よりも君主の徳が安全保障の要』という趣旨の漢詩を記すことで、『9条は自らの発案だ』との自負を示したのだろう」と意図を推測する。

掛け軸は既に公的機関に寄贈され、今年夏ごろに一般公開される見通し。【鈴木英生】

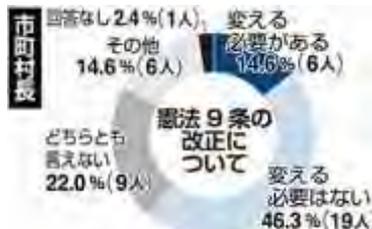
幣原の伝記を著したノンフィクション作家、塩田潮さん（72）の話

幣原が9条について憲法制定過程で私的に記したものは他には見つかっていないはずだ。幣原は平和主義以上に天皇制存続に必死で、そのためには日本を警戒する国際社会に「戦争をしない国」を表明するしかないと言ったとマッカーサーと合意したのだと思う。掛け軸は「9条は皇室護持のためだ」とほめかしたものと解釈できる。

※はさんずいに「兆」

9条改憲—不要 19、必要 6人 県内首長「加憲」21人が容認 国会議員、与野党割れる 琉球新報・憲法アンケート

毎日新聞2019年5月3日



琉球新報は2日までに、沖縄県内41市町村長と県選出・出身国会議員10人を対象に憲法に関するアンケートを実施した。41市町村長のうち、憲法9条改正について「変える必要はない」との回答は19人（46・3%）に上り、「変える必要がある」とした6人（14・6%）を大きく上回った。国会議員は自民党議員3人が「変える必要がある」とし、野党議員5人が「必要はない」とした。首長、国会議員とも改憲の方向性や国民的議論の不足などを疑問視する意見が目立った。

現行憲法については、外間守吉与那国町長が「あまり評価しない」、山川仁豊見城市長が「その他」と回答したのを除き、回答した全ての首長・国会議員が「高く評価する」「評価する」を選択した。

一方で憲法を改正すべきかどうかとの質問には、首長の21人（51・2%）が「現在の憲法を基軸に条文の追加や見直し」と回答。「憲法を変える必要はない」とした13人（31・7%）を上回り、9条以外の条文見直しや「加憲」を認める首長が多数となっ

た。

安倍晋三首相が表明し、自民党が改憲案としてまとめた 9 条への自衛隊明記について「必要ない」の 15 人 (36・6%) が最も多く、「必要だ」と回答したのは 12 人 (29・3%) だった。国会議員の賛成は自民ら 4 人で、野党の 5 人が反対、維新の 1 人は「どちらとも言えない」と回答した。

改憲論議で議論されるとみられている「緊急事態条項」について「必要だ」と回答した首長は 9 人 (22・0%)、「必要ない」と回答した首長は 10 人 (24・4%) で、賛否がほぼ拮抗 (きっこう) した結果となった。「どちらとも言えない」「その他」が計 23 人に上り、緊急事態条項の議論が進んでいない現状も浮き彫りになった。

国会議員では、政権与党の自民党所属議員 3 人が「必要だ」と回答。5 人は「必要でない」と回答した。「どちらとも言えない」「その他」はそれぞれ 1 人だった。

調査はアンケート用紙を 4 月 23 日にファクシミリで送付して実施した。下地敏彦宮古島市長は回答しなかった。(琉球新報)

平和願い 30 年、今夏で幕 渡辺美佐子さんの原爆朗読劇 映画公開、憲法への思いも

2019/5/2 21:01 日本経済新聞 電子版

俳優の渡辺美佐子さん (86) が俳優仲間とともに 30 年以上続けてきた原爆朗読劇が今夏、幕を閉じる。少女時代に恋心を抱いた少年が米軍の投じた原爆で即死したことを知り、渡辺さんは朗読劇を始めた。「戦争は二度とあってはならない」。朗読劇に込めた渡辺さんの平和への思いは憲法の意味を問うドキュメンタリー映画になり、4 月下旬から公開されている。

朗読劇に渡辺さんが参加したきっかけは、戦時中に東京の国民学校で出…

残り文字数 : 927 文字

参院選に向け女性天皇議論 枝野氏「国民の関心高い」

日経新聞 2019/5/3 22:06

立憲民主党の枝野幸男代表は 3 日、女性天皇に賛成する世論が非常に大きいとして、夏の参院選に向けて女性、女系天皇容認などの問題について議論の必要性を訴えていく意向を示した。札幌市で記者団に「国民的な関心が高まっている。女性天皇、女系天皇、女性宮家の問題をしっかり訴え、国民の理解を広めたい」と述べた。

女性宮家創設を含む皇族減少対策に関しては「男性の皇位継承権を持つ方の数が非常に少ない。皇室制度が安定的に継続するため、政治が考え方を示して国民の共通認識をつくる責任がある」と指摘した。

自民党内の保守派には、女性宮家創設は女系天皇の容認につながるとして慎重論が根強い。安倍晋三首相も野党時代に月刊誌で反対を表明した。

共同通信社が 1、2 両日実施した全国緊急電話世論調査では、女性天皇を認めることに賛成は 79.6% で、反対の 13.3% を上回った。

〔共同〕

立民の枝野代表 「女系天皇など国民の理解広めたい」

NHK2019年5月3日 20時54分



皇位継承などをめぐり、立憲民主党の枝野代表は「女性や女系天皇に対する国民の理解や支持は非常に大きい」と述べたうえで、さらに理解を広めたいという考えを示しました。

今回の皇位継承にあたり、皇位の継承資格がある皇族は、新たに皇嗣となられた秋篠宮さまなど 3 人となるほか、女性皇族が結婚で皇室を離れることも予想され、安定的な皇位継承や皇族数の減少への対応が課題となっています。

こうした中、立憲民主党の枝野代表は札幌市で記者団に対し、「皇室制度を安定的に継続していくために、多くの国民が心配している状況だからこそ政治が考え方を示し、国民の共通認識を作っていく責任がある」と指摘しました。

そのうえで、枝野氏は「女性や女系天皇に対する国民の理解や支持は非常に大きい。女性・女系天皇や女性宮家の問題については、参議院選挙に向けてしっかり訴えて、国民の理解をさらに広めていきたい」と述べました。

これに先立って、枝野氏は街頭演説で夫婦が希望すれば結婚前の姓を名乗れる「選択的夫婦別姓」制度について、「参議院選挙を通じて賛成する勢力を国会の中の多数にしていくな大きな一歩を踏み出したい」と述べ、制度導入に意欲を示しました。

櫻井よしこ氏「憲法改正なくしてわが国の再生はない」

産経新聞 2019.5.3 18:28

ジャーナリストの櫻井よしこ氏は 3 日、都内で開かれた改憲派の集会で講演し、「令和の時代、立派な日本国としての歩みをさらに強めなければならない。憲法改正なくして、わが国の本当の意味の再生はない」と述べた。発言の詳細は次の通り。

◇

「(先の大戦の) 敗戦のとき、私たちは日本国の国柄を根底から潰されてしまいかねなかった。皇室が廃止され、わが国の国柄が全く違うものに作り替えられるような危険が現実になりました。もし、そのようなことになっていたら、今の日本国はあり得ません。この危険を避けるために、先人たちは涙をのんで、本当に無理無体な占領政策を受け入れました。その筆頭が現行憲法です」

「だれが読んでも現行憲法は日本民族の憲法ではない。どこに日本の文化の薫り、伝統の片鱗(へんりん)があるのでしょうか。まったく別物です。それを承知でこれを受け入れました。そして、ようやくわが国は天皇陛下や皇族、皇室を存続させることができました。私たちは先人たちがどんな悔しい思いをして、今の憲法を受け入れたか。それを忘れてはなりません」

「にもかかわらず、(現行憲法制定から) 70年以上がたった今、私たちは一文字も憲法を変えることができていません。あまつさえ、世の中には今の憲法で良いんだという声も、まだ半分近くある。先人たちがどんなに悔しい思いをしたのか。それだけでなく、どれだけ苦勞して、敗戦のあの荒廢の中からわが国を守り通そうとし、そして、守ってきたか。この貴重な体験を本当に思い出し、今こそ令和の時代、新しく大和の道を歩もう。私たちは私たちなんだ。日本は日本なのである。立派な日本国としての歩みをこれからさらに強めなければならない。令和に込められたこの意味を、もう一度、日本国憲法の悲しくも悔しい歴史と重ね合わせて考えるべきときだと思います」

『憲法改正のために党を作るんだ』それが自民党の立党の精神です。自民党を支える人々の気持ちはその立党の精神を支えているのではないですか。しかし、自民党は衆参両院で改憲勢力と呼ばれる議席を3分の2以上持ったことは安倍政権までありませんでした。ですから、憲法改正ができなかった。今、初めて自民党・与党は憲法改正することができる状況にあるのです」

「ならば、なぜやらないのか。なぜ憲法審査会は全く働かないのか。自民党だけではないです。公明党もそうです。日本維新の会もそうですよ。みんなそうです。そして、その他の野党は、もっとそうだと思います。憲法改正なくして、わが国の本当の意味での再生はないです。昭和20年に敗戦を迎え、22年にこのくだらない憲法が作られた。今、もう一回立て直すときなのです」

「最終的に(憲法改正を)決めるのは国民の私たちだ。この国の新しい未来を構築していくためには、なんとでも憲法改正を發議していただきたい。民主主義を信じ、国民を信じるための議論をこそ、政治が發信してほしい。そうすれば、本当にまじめで国を思う日本国民が一生懸命に考えて、この国の未来のために一番良い選択をする。その能力と意思を私たちは持っています。憲法審査会を一日も早く動かしていただいて、そして日本国の新たな可能性を、素晴らしい令和の時代と一緒に切り開いていきたいと思っています」

しんぶん赤旗 2019年5月4日(土)

全国憲法研究会が講演会 天皇・AI社会・民主主義問う

憲法学の学者・研究者などで作る全国憲法研究会(代表・市川正人立命館大学教授)は3日、東京都内の明治大学駿河台キャンパスで憲法記念講演会を開きました。学生・研究者・市民ら1000人以上が参加しました。



(写真) 全国憲法研究会の憲法

記念講演会で講演する高橋源一郎氏＝3日、東京・明治大学駿河台キャンパス

作家の高橋源一郎氏が「天皇、憲法、文学」と題して講演。前天皇の退位に際しての發言を読むと、前天皇が天皇の「象徴的行為」とは何かを考え、模索してきたことがうかがえると指摘しました。

高橋氏は、前天皇の独自の模索から問われるべきは、「戦後処理などの問題を先送りし、責任を取らなかった、昭和天皇を含む戦後日本社会」なのではないか、元号が変わっても、「昭和はまだ終わっていない」のではないかと問いかけました。

憲法学者の山本龍彦・慶応大学教授は「憲法から考えるAI社会」と題して講演。AI(人工知能)社会と自由・民主主義との緊張関係に注意を促しました。

山本氏は、個人の属性や行動履歴を収集し続けなければならないAI社会と「プライバシーとの根源的緊張」や、AIがインターネット利用者にそれぞれの価値観に合った情報だけを提示する結果、社会が分断されてしまう危険などを指摘。人権保障のためにEUなどで始まった新しい動きを紹介し、「どのようなAI社会が理想なのかを『いま』考える必要がある」と訴えました。

【憲法記念日】最高裁長官談話「裁判所の使命、ますます大きく」 産経新聞 2019.5.3 05:00

最高裁の大谷直人長官が3日の憲法記念日にあたって談話を發表し、21日に施行から10年の節目を迎える裁判員制度について、「戦後最大の刑事司法改革として創設された。国民の理解と協力の下、多くの方々に裁判員として参加していただいた」と振り返った。

有権者から選ばれた裁判員と、裁判官が共同で審理する裁判員制度は、刑事裁判に市民感覚を反映させることを目的に始まった。大谷氏は「制度を順調に運用し社会に根付かせていくためには、法曹三者が絶えず運用状況を検証し、協力して改善に取り組むことが重要だ」との見解を示した。

また、平成の時代を「国民により身近で頼りがいのある司法制度を目指して、司法制度改革に伴う諸制度の創設や抜本的な改正が行われた」と振り返り、社会が急速な変化を続ける中、「裁判所の使命はますます大きなものになっている」と指摘した。民事裁判手続きのIT化などの新たな課題にも着実に取り組む方針を示し、「国民の信頼に応える裁判所を実現するよう努めていく」とした。